

開校70周年記念誌

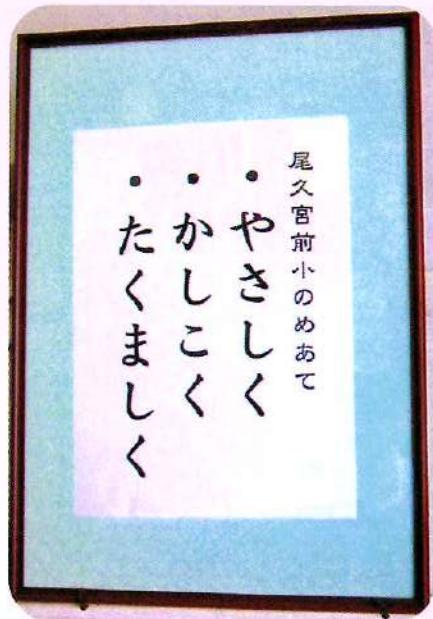
みやまえ



荒川区立尾久宮前小学校







教育目標

校 歌

亀谷 静作詞
山本治重作曲

一、みどりの若木 すこやかに
春のひざしに 伸びるよう
大地を踏んで しつかりと
進むはわれら 宮前の
文化日本を きづくもの

二、暑さははげし 夏の日も
寒さきびしい 冬の日も
知識をみがき わざを練り
歌おう豊かに 声たかく
民主日本の 朝の歌

三、その名もゆかし 宮前の
清く明るい まなびやに
のぞみの胸を 跳らせて
仰ぐひがしの 大空に
平和 日本の 日が昇る

※尾久宮前小学校の校歌は昭和24年の新校舎落成式には歌われていたようです。
※作詞作曲のお二人は当時の尾久宮前小学校の先生でした。

目 次

教育目標・校旗・校歌	目 次									
あいさつ	目 次									
校長・PTA会長	目 次									
区長・教育委員長	目 次									
区議会議長・教育長	目 次									
宮前の子	目 次									
副読本	目 次									
年 表	目 次									
クラスのページ	目 次									
PTA 資 料	目 次									
80	67	55	44	10	6	5	4	3	2	1



創立七十周年を迎えて

荒川区立尾久宮前小学校
校長 高橋 喜信



尾久宮前小学校は、昭和九年九月一日に開校し、今年、七十周年を迎えました。

人間に例えれば、七十歳、「古希」に

なります。

開校当時の宮前小は、関東大震災の教訓を生かして、建物の基礎をしつかりと築いた荒川区ではじめての新築校舎でした。

荒川土手の五色桜にちなんで、桜の花びらと「オグ」の文字をかたどつた校章もつくられました。

七十年という長い歩みの間には、さまざまなものがありました。

新しい学校・長い戦争の時代・食べ物や物資の極度の不足・東京大空襲・校舎焼失・終戦、そして新しい豊かで平和な日本の復興。「喜びと哀しみ」「楽しさと苦しさ」が入りまじった七十年間でした。

宮前小は、家庭的な学校です。今も七十年前も変わりません。

地域を歩くと、「おはよう」「こんにちは」の挨拶が日常的に行きかう街です。心も体も健やかな子どもたちが育っています。

これもひとえに、歴代校長をはじめ教職員の努力、地域・保護者の皆様方の温かいまなざしと惜しみないご協力、荒川区及び荒川区教育委員会の適切なご指導・ご支援の賜物であると感謝申し上げます。

す。

校歌にも歌われているように、「文化日本」・「民主日本」・「平和日本」を築く人材を育てる為、これからも全教職員が心を一つにして、「やさしく・かしこく・たくましい」子どもたちを育てていくことを誓い、挨拶といたします。

創立七十周年をお祝いして

荒川区立尾久宮前小学校
PTA会長 小熊 賢一



尾久宮前小学校創立七十周年誠におめでとうございます。
昭和九年九月に創立以来、七十年もの長い間、尾久宮前小学校を支えてきた、歴代の校長先生を初め諸先生方、地域の皆様、そしてPTA。それぞれの時代に多くの皆様に愛された尾久宮前小学校、そうした皆様の努力のおかげで今の尾久宮前小学校があると思っています。心より御礼申し上げます。

いま学校は大きく変わる転換期にあり、週五日制の導入で教育内容のスリム化をはかり、学校選択の自由化では、それぞれの学校の創意工夫をいかした学校作りに励み、また地域に開かれた学校作りなどと、新しい小学校の形には多くの課題が待ち受けています。こうした中、主役の子供達に学習の基礎、基本を培う学校にするには、教師だけでなく、地域、学校、保護者が互いに協力し、また地域に愛され貢献する学校を築いていかなくてはならないのでしょうか。

今の子供達が温かい思い出を溢れるほど心に残す小学校時代を過ごすことができれば、尾久宮前小学校はこれから先、八十、九十、そして百年と愛され続け、これからも地域の尾久宮前小学校となるでしょう。それが私たち大人の役目なのかもしれません。

最後に荒川区をはじめ多くの関係各位の皆様に七十周年を迎えたことを心より感謝致しますとともに、今後とも本校発展のために、ご指導ご協力のほど、お願ひ申し上げます。

開校七十周年を祝して

創立七十周年をお祝いして

荒川区長 西川 太一郎



荒川区立尾久宮前小学校の開校七十周年を心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和九年に尾久宮前尋常小学校として開校以来、戦火などの苦難を常に地域と学校が一体となつて乗り越え、現在の輝かしい歴史と伝統を築き上げてまいりました。ここにめでたく開校七十周年を迎えたことは、誠に喜ばしいことあります。これもひとえに、骨身を削つてご努力いたきました歴代の校長をはじめ、教職員、PTA、地域の皆様の方のたゆまぬ努力の賜物であると、深く敬意を表し、感謝を申し上げます。

本校では、未来を担う子どもたちが、心身ともに健康で、各自の個性や能力を十分に發揮し、変化の激しい社会をたくましく生きる力を培い、広く社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな区民として成長していくことを期して、さまざまな取り組みを行っています。

本校でも、次代の担い手として社会の変化に主体的に対応できる豊かな心を持ち、たくましく生きることができる児童の育成のため、基礎学力の確かな定着や福祉教育の充実などに全校をあげて取り組まれているところでございます。

今後とも保護者と地域の皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたしますとともに、尾久宮前小学校が益々、発展しますことを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

荒川区教育委員会 委員長 千石 保



荒川区立尾久宮前小学校の創立七十周年を迎まして、心からお祝い申し上げます。

本校は、昭和九年に尾久宮前尋常小学校として開校いたしました。開校して間もない戦時下におきましては、学童集団疎開や校舎の全焼失など、幾多の苦難に遭われましたが、これを乗り越え、七十年の歴史を地域と学校が共にその教育活動によつて築き上げてまいりました。

これもひとえに、歴代の校長先生をはじめ教職員の皆様の信念と献身的な努力、さらに地域の皆様や保護者の方々から寄せられたご支援、ご協力の賜物であります。改めまして敬意を表し、感謝を申し上げます。

現在、本校では、教育目標に「やさしく、かしこく、たくましく」を掲げ、次代の担い手として、豊かな心とたくましさをもつて社会に向き合うことのできる児童の育成を目指しております。福祉や社会とのふれあいをテーマに取り入れた、豊かな心を育む教育活動に加え、漢字や作文、読書の力をより高める多様な読書教育を実施し、さらなる学力向上に取り組んでおります。

教育委員会といたしましては、本校が推進する教育活動を、今後も積極的に支援してまいりたいと存じます。

これから尾久宮前小学校、そして地域と一緒に培われてきた本校の伝統が、地域の皆様をはじめ、関係者の皆様に引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、ますますの発展をされるよう祈念し、お祝いの言葉といたします。

創立七十周年を記念して

開校七十周年を祝して



荒川区議会議長 菅 谷 安 男

荒川区立尾久宮前小学校創立七十周年、誠におめでとうございます。荒川区議会を代表して心からお祝いを申し上げます。

本校は、昭和九年に開校され、以来、地域に信頼され、愛される学校として着実に発展してこられました。そして、これまでに一万一千人を越える卒業生を社会に送り出しました。

これもひとえに、子どもたちの教育環境の向上に心をつくされて

こられた歴代の校長先生を始め、諸先生方並びにPTA、地域の皆様方の献身的努力によるものと深く敬意を表する次第でございます。

今、荒川区では、習熟度別学習や学校選択の自由化をはじめ多くの先駆的な取組みがなされ、全国から注目されています。そのような中、尾久宮前小学校では、特別養護老人ホームの訪問などの高齢者との触れ合いや、合宿通学、あいさつ運動など、特色ある教育活動に積極的に取り組まれております。誠に時代のニーズにあつたものであると存じます。

具体的には、本校の特色となつていて、「合宿通学」や「絵手紙交流」「アナの木植栽」などふれあい教育を柱に、豊かな心の育成のための様々な取り組みが行われております。また、確かな学力を児童に身につけさせるために、放課後の補充学習や漢字検定などにも積極的に取り組み、大きな成果をあげています。

このようないくつかの取り組みが、これまでの努力と密接につながっています。今後とも、尾久宮前小学校が、これまで培われた歴史と伝統を礎に、着実に発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。



荒川区教育委員会
教育長 石 橋 伸一郎

荒川区立尾久宮前小学校の開校七十周年を、心からお祝い申し上げます。

尾久宮前小学校は、「やさしく かしこく たくましく」を教育目標に、次代の担い手として社会の変化に主体的に対応できる豊かな心を持ち、たくましく生きることができる児童の育成をめざし、日々の教育活動の発展・充実に努めてまいりました。

子どもたちは地域の宝であり、国の宝であります。明日の荒川区、将来の日本を支える子どもたちのために、学校、保護者、地域が一致協力し、子どもたちの明るい未来を守ることが我々大人の使命であり、責任だと思います。

創立七十周年を一つの契機として、尾久宮前小学校が、地域の皆様とさらに固く手を結び、今後とも、より一層充実した教育に取り組まれ、ますます発展されますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉いたします。

宮前の子



1年生のお帰りだー。



朝のあいさつ運動をしています。

信愛のぞみ郷での3年生がボランティアをしています。



1年生、トマロコシの皮むき体験です。



6年生の車イス体験です。



自分で作った名刺を、みんなで交換します。



絵手紙は地域のお年寄りに配られます。



PTAと町会の方が自転車安全教室を開いてくれました。



地域のお年寄の人に笛の合奏を…



「アイメイト」を学校に連れてきてもらいました。



1年生と2年生が手をつないで尾久の原に行きました。



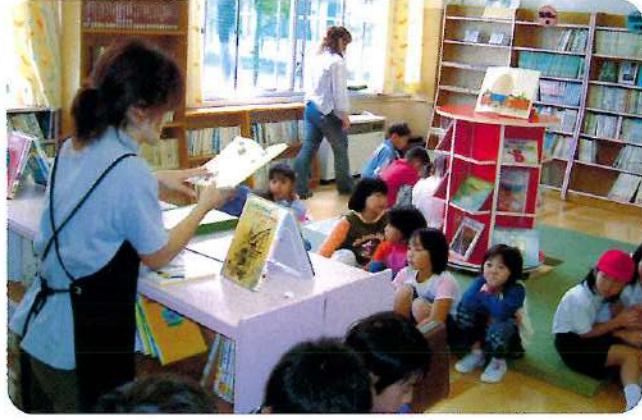
今年 新しくボロボロクラブを作りました。



自分の顔を大きく描きます。



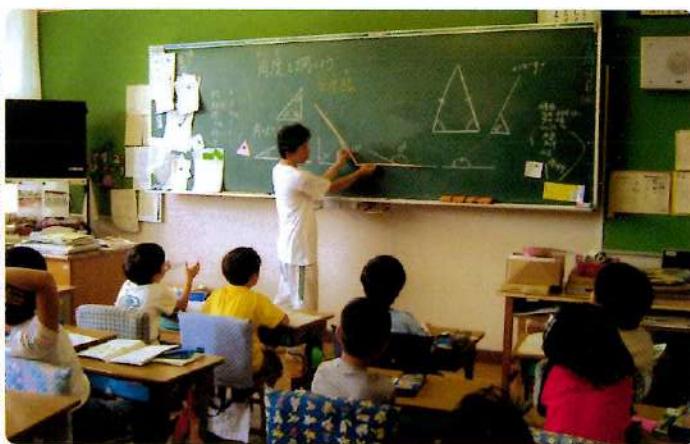
合宿通学は今年で4年目になりました。



ボランティアの方が、読み聞かせをしてくれます。



70周年記念大運動会のタワー



いい?こうやって広げていくと何度かな?



「いっぱいください」

宮前の子



5年下田海岸 心原へまで磯をそびで
カニをおいかげました。



毎週土曜日は「チャレンジ卓球教室」です



さわやかな音色が響く音楽室



「今日のお昼の放送は……」放送委員会



習熟度別算数の勉強です。



1人1台のコンピュータで覚えています。



着衣泳は3年生と5年生がやっています。



具合の悪い人のお世話をするのが保健委員会です。



夏休みには、サマースクールで勉強しました。



プールの最後は水泳記録会です。



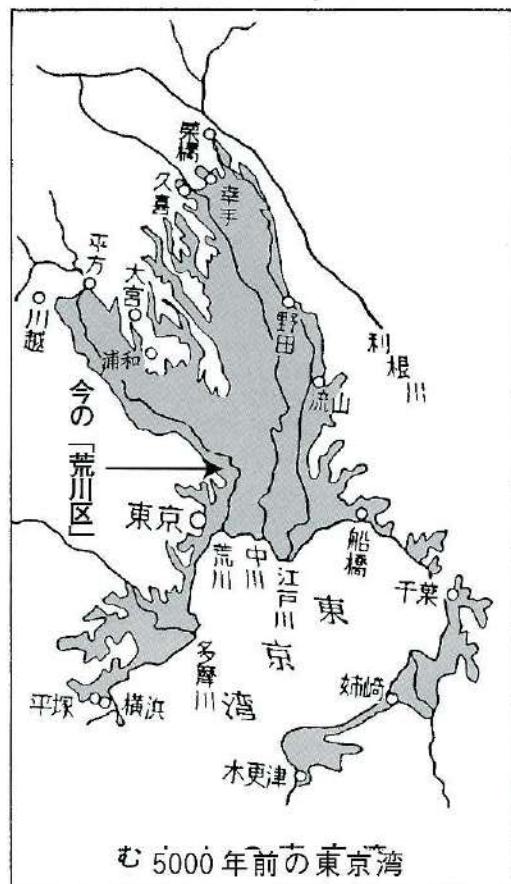
環境美化は、まず学校の周りから……



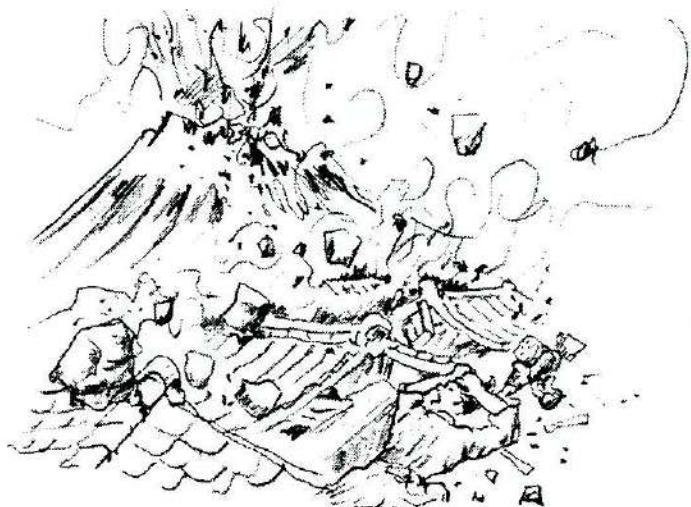
楽しく会話をしながら英語を覚えます。



世界の動きは……地球儀をおいて。



尾久のうつりかわり



富士山の大爆発

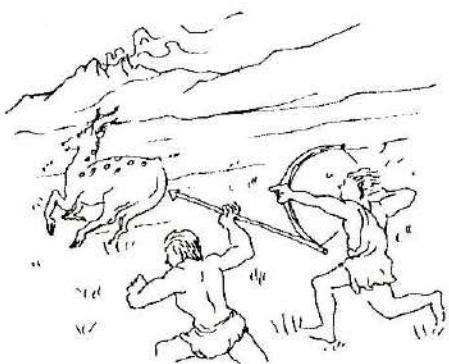
一、尾久のうつりかわり

(一) 大むかしの尾久

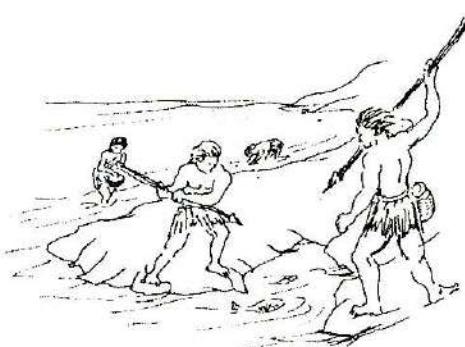
大むかし、わたしたちの尾久はどんな
ようすだったのでしょうか。

大むかし、わたしたちの尾久は、海のそこ
だつたようです。日暮里のちかくにある諏訪^{すわ}
台のすそに波がうちよせ、白いしぶきをおど
らせていました。

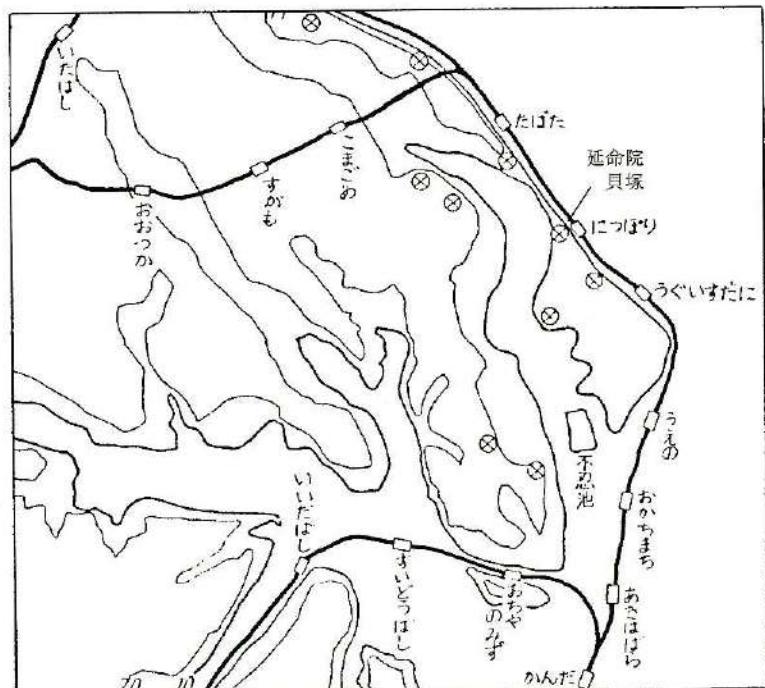
およそ二十五万年前、富士山は大ばくはつをくりかえしていました。ふりそそぐ灰がりく地をつくり、荒川や利根川とねがわもたくさんの中砂をはこびました。こうしてできた土地が今、わたしたちが住んでいるところなのです。そのことは、諏訪台が、海面から二十一メートル、わたしたちの尾久は、およそ二メートルから三メートルの高さだということからもわかります。



野山でけものをおう



海辺で貝をひろい魚をとる



貝塚の見つかったところ

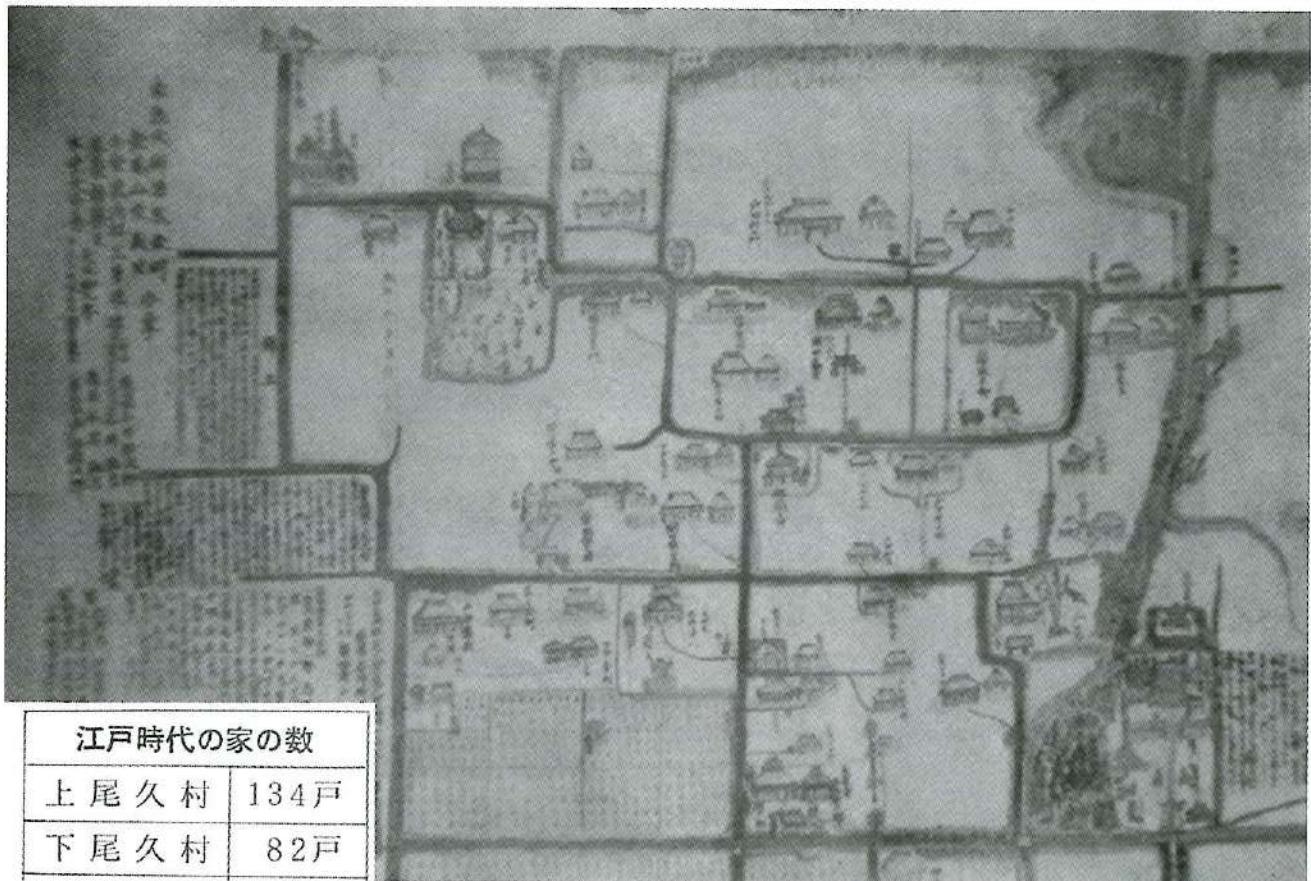
◎は貝塚

大むかしの人々は、どんな暮らしをしていたのでしょうか。

大むかしの人々の暮らしのようすは、土の中から見つかったものからわかります。諏訪台の延命院貝塚からは、人々が食べたと思われる貝がらのほか、土器（うつわやつぼなど）や石器（石おの、石ぼうちょう）動物のほねなどが見つかりました。大むかしの人々は動物をとつて食べたり、魚や貝をとつて食べたりしていたようです。

尾久の地名

尾久という地名のおこりは、武藏国豊島郡の奥おくという人もいますがはつきりしません。今から六百年ほど前は「小具郷おぐこう」と言われていました。



(二) 東京が江戸とよばれたこと

東京が江戸とよばれていたころ、わたしたちの尾久はどんなようすだったのでしょうか。

わたしたちの住んでいる東京は、むかしは江戸とよばれていました。徳川家康が江戸に幕府をひらいてから、今の千代田区や中央区のあたりには江戸城を中心に武士や町人があつまって、とてもにぎやかになりました。

しかし、荒川区は江戸の町の外がわだつたので、家も少なくさびしいところでした。

◎ 米づくり・野さいづくり

尾久には、上尾久村と下尾久村、そして船方村がありました。上尾久村は田が多く、下尾久村は畠がほとんどでした。米づくりもさかんで、一年間におよそトラック（二千キロづみ）七十台分もの米がどれました。早くから野さいづくりもはじまり、尾久の京菜（きょうな）は町



八幡堀プロムナード



八幡神社

屋の大根、日暮里のしょうがとともに、江戸中の人によろこばれました。

また、上尾久村には鷹匠たかじょうとよばれる人もたくさん住んでいました。

◎ 八幡神社と八幡堀

八幡神社は、今から六百年以上もまえにたてられました。尾久の村の鎮守ちんじゆさまとして、村人にあつくてまつられていたお宮で、今でもお正月や七五三、お祭りの時など、とてもにぎやかです。

八幡神社のよこに、「八幡堀はちまんぼり」がありました。八幡堀は、田端から隅田川にながれていきました。はい水路としてつかわれていたので沼のようになつているところもありました。宮前小学校の近くを流れっていた八幡堀のあとは、昔のようすを絵タイルにした『八幡堀プロムナード』となっています。

のう家のようす

尾久村には、たくさんのお百しょうさん
が住んでいました。かやぶきやわらぶきの
屋根のひさしが長くて、その下はいねなど
をほすのにつかれました。

土間には大きなかまどがあつて、木くず
やわらをもやしました。かまどでできた灰
は、たいせつなこやしでした。

いろいろある家は少なかつたので、さむ
い日はこたつに入りました。

いろいろある家は少なかつたので、さむ
い日はこたつに入りました。
にわに、ざくろやか
きの木をうえていまし
た。竹をうえて、その
竹でいろいろな道具を
作る人もいました。



昔の農家のようす

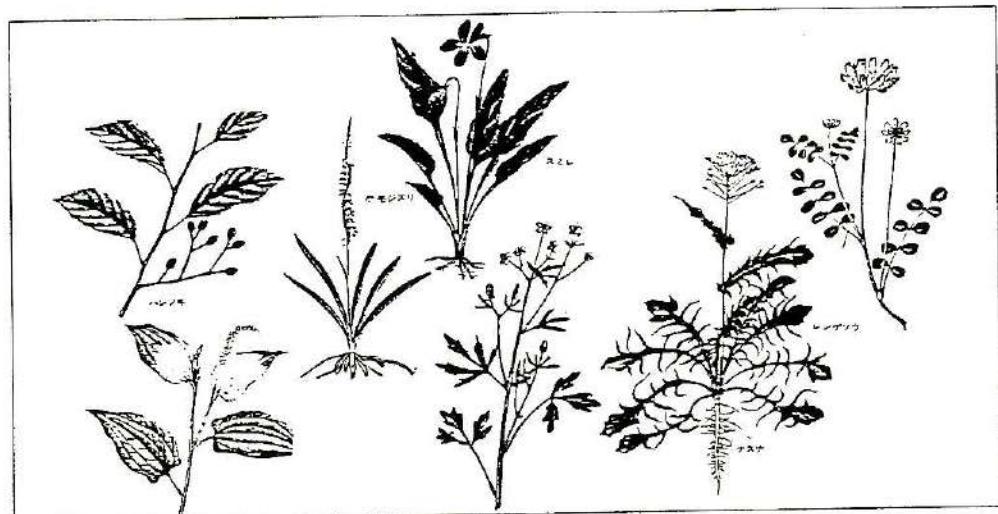
◎ 石神井川用水路

米づくりにはたくさんの水を使います。
尾久の人たちは、石神井川の水が飛鳥山の
下の音無川おとなしがわに流れ、そこから王子、田端、日
暮里、三ノ輪、汐入しおいりへと流れている用水路か
ら田うえの水をひきました。

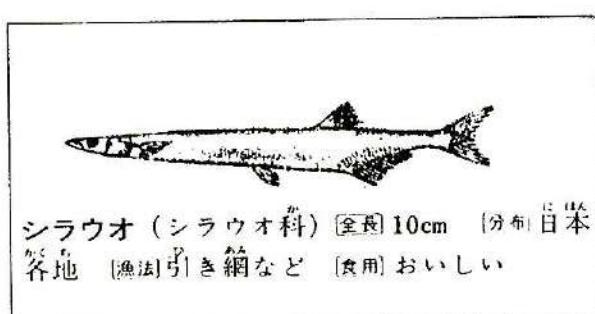
上方かみの方で水をせき止められるところまで
水番の人がねないで田を見まわりました。

用水路の元になっているところは、板橋の
根村という水車のあるところで、草もしげり
きつねもないて、とてもこわいところだった
といいます。この用水路のおかげで、米はた
くさんされました。それが、どれた米の半分は上野
の寛永寺かんえいじに年貢ねんくう（今のぜい金）としておさめ
なければなりませんでした。

この用水路のあとが、田端駅に行く坂の下
にのこっていたそうです。



尾久ノ原の植物



シラウオ（シラウオ科）全長10cm 分布日本各地
[漁法]引き網など [食用]おいしい



サクラソウ

シラウオ

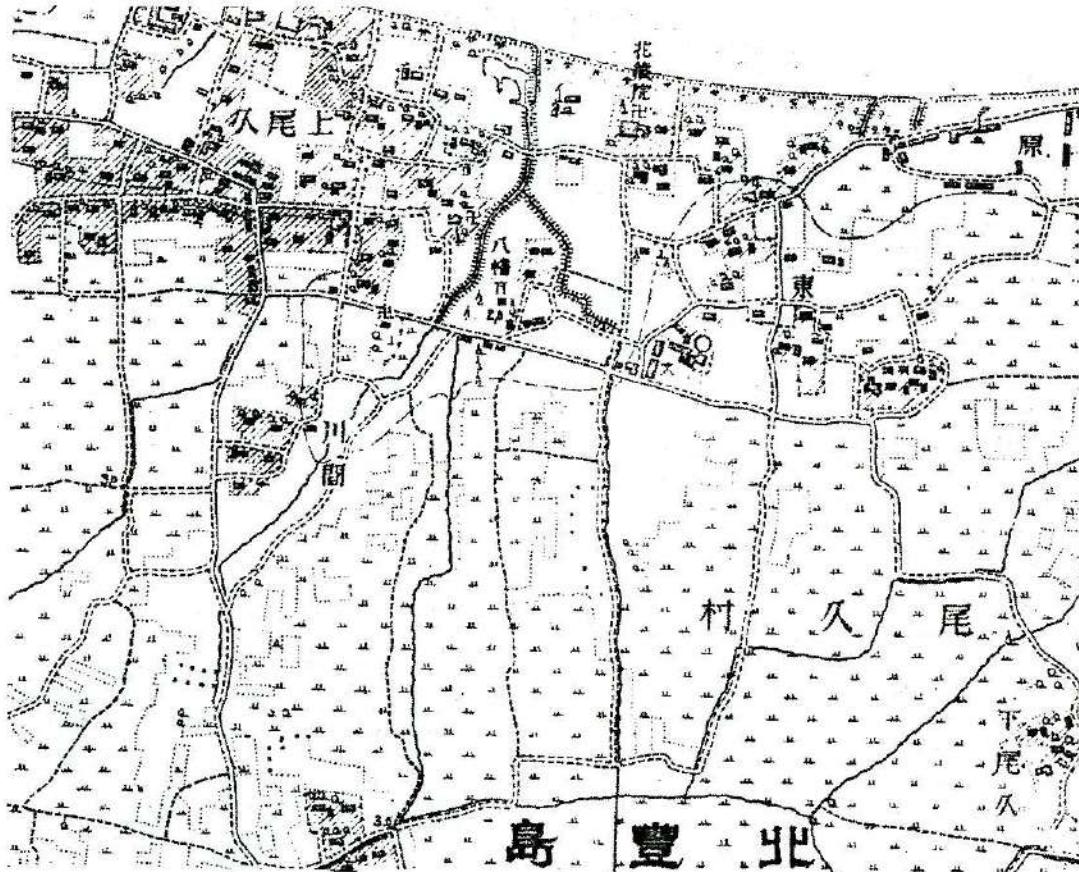
◎ 荒川と大水

わたしたちの尾久は、川の近くにあります。

今は、荒川と隅田川の二つですが、むかしは今のが隅田川一つでした。今のようにコンクリートのていぼうがなかつたので、大雨がづくとよく大水になりました。そのために、土がよくこえて、サクラソウが一面にさいていたそうです。そのほかにも、たくさんの中の植物がはえていました。むかしの本にも「尾久ノ原」のサクラソウについて書かれています。

また、むかしは、川の水がたいへんきれいで、シラウオがたくさんおいいでいたそうです。

荒川は、にもつや人をはぶやくめもしていましました。尾久河岸（おぐがし）（小田井の渡し）もその一つで、足立区に行く人をのせました。



明治のころの尾久

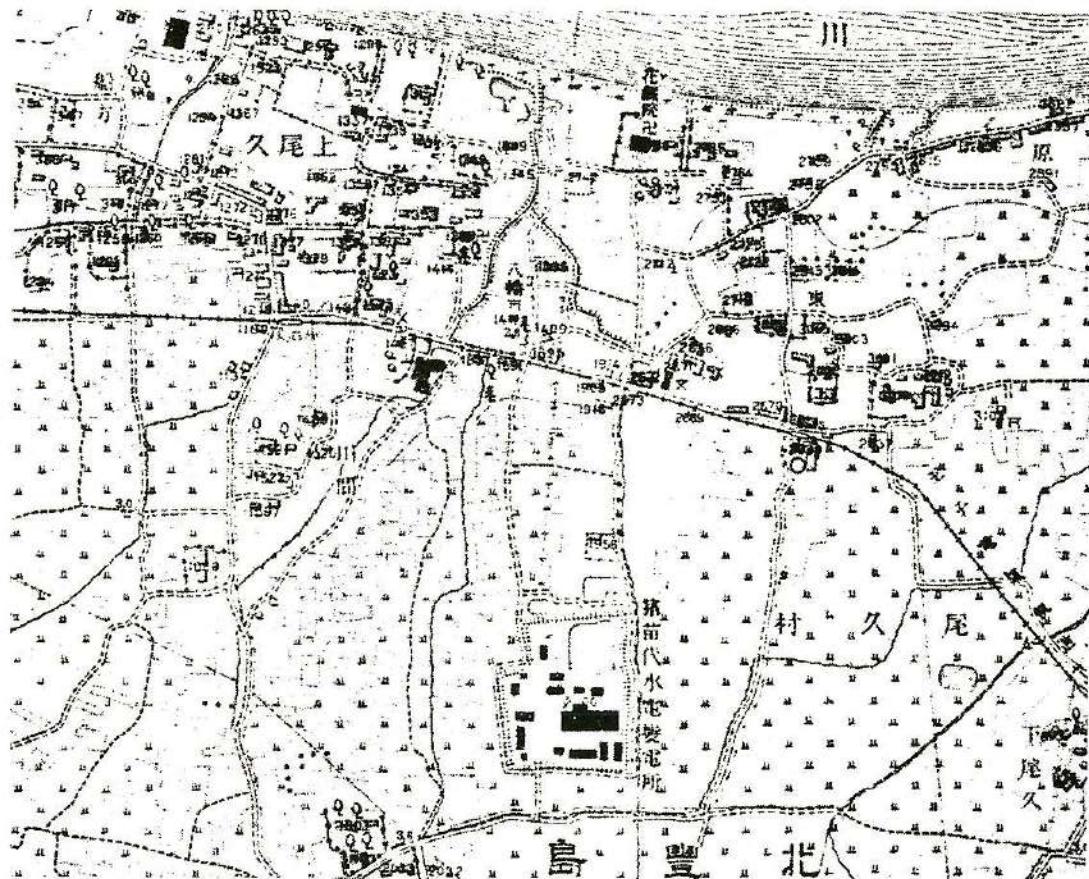
(三) 尾久村から尾久町へ

明治・大正のころ、わたしたちの尾久は
どんなふうにかわっていったのでしょうか。

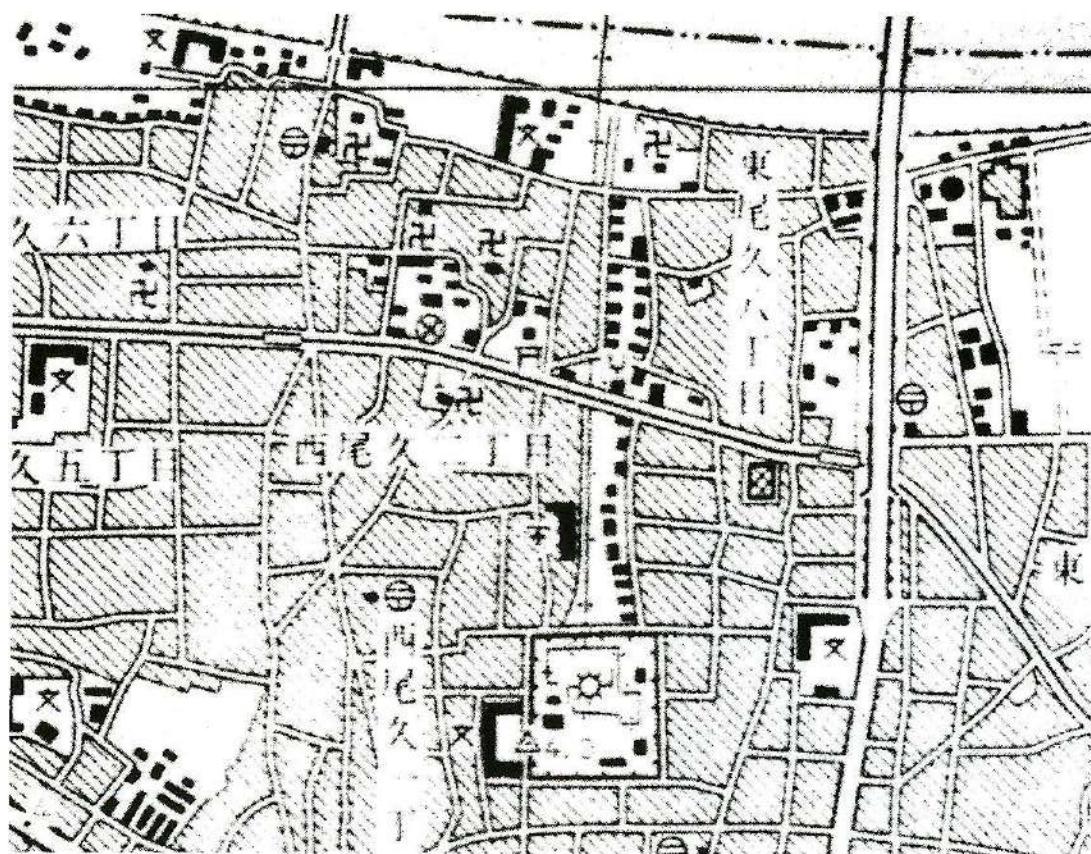
◎ 田から畠へ

尾久のむかしの地図と今の地図をくらべて
みましょう。どんなことがかわっていったの
でしよう。

明治のころは米をたくさん作つてうるほど
でしたが、野さいを多く作る人がふえて、田
よりも畠が多くなりました。レンコン、ホウ
レン草、シソの葉、大根などの野さいを天び
ん棒をかついで市場にはこびました。大八車
やリヤカーを使うようになつてから、一度に
たくさんはこべるので、とおくの市場まで行
けるようになりました。田畠のしごとの少な
い時は、農具の手入れなどをしました。



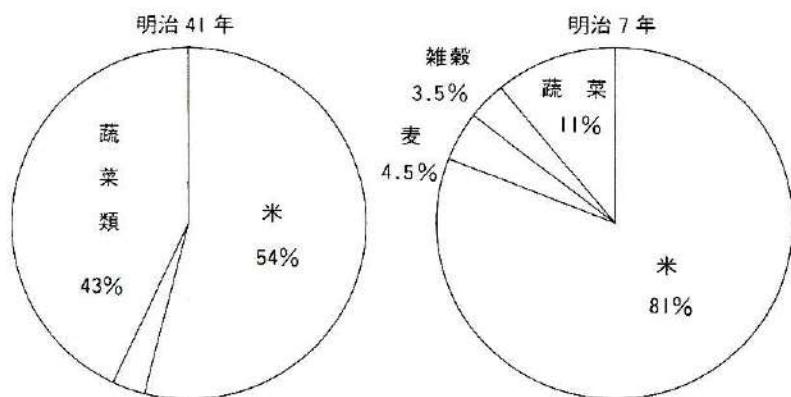
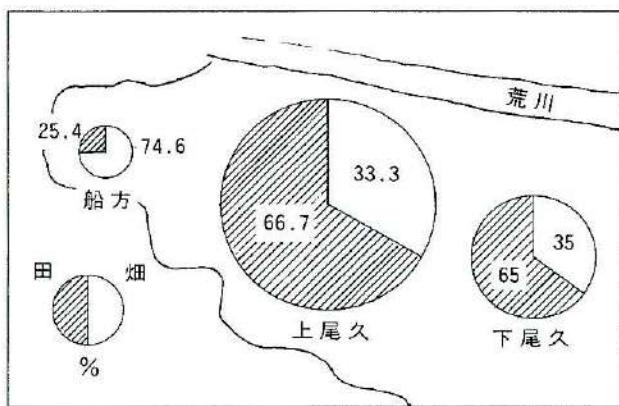
大正のころの 尾久



昭和のころの 尾久

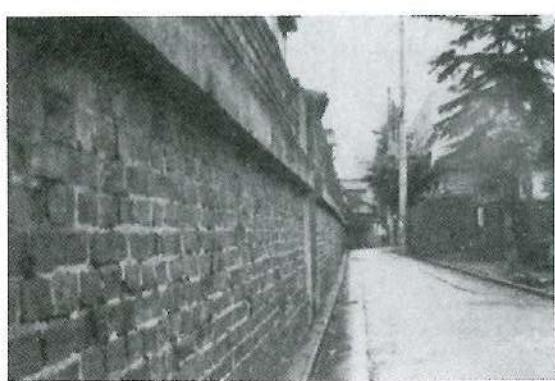
○だんだん田より畑が
多くなつていつた

田や畠をくらべる
(明治七年)



大正のころになると
家や工場がつぎつぎと
たてられるようになり
米や野さいを作る人々
がだんだん少なくなつ
ていきました。

明治の終わりごろになると、荒川にそつて
工場がつくられるようになりました。その中
でもレンガ工場は尾久の町につくられ、西洋
館づくりや土壌などの材料になりました。町
屋や尾久からは、荒木田土というレンガ造り
によい土がたくさんとれたのです。レンガは
荒川をつかって銀座などへはこばれました。
今でも、このころのレンガをつかったへい
がのこっています。



赤いレンガのへい

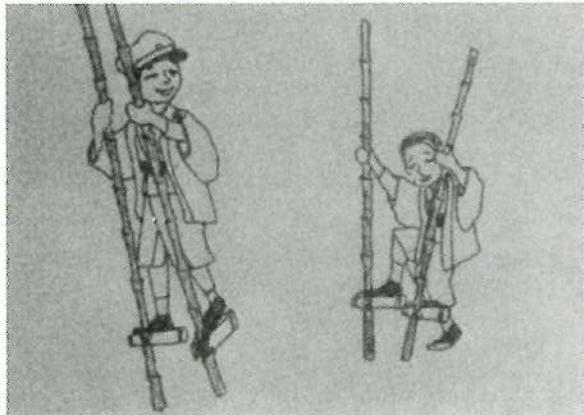
◎ レンガ工場



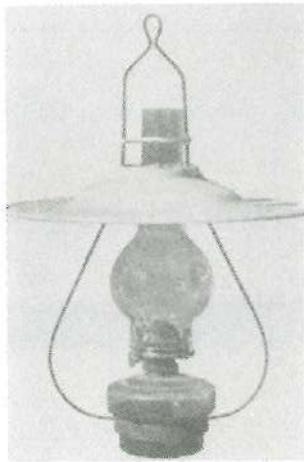
荒川土手の五色桜



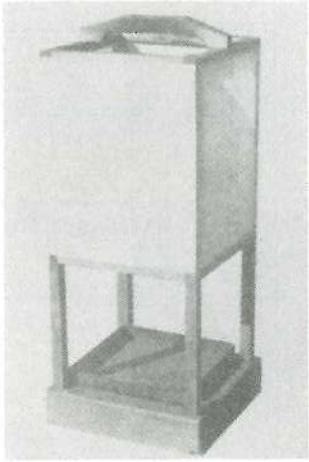
井戸



昔の子供の遊び



ランプ



あんどん

◎ 人々のくらし

むかしはどの家でも井戸水を使っていました。水がよく出るようにも十メートル以上ありました。はじめは、つるべでくんでいましたが、ポンプでくむようになりました。尾久の人たちが水道を使い始めたのは大正五年でした。

電気がついたのは、明治の終わりごろです。それまでは、ろうそくを使つたあんどんやランプでした。ランプのはやは、すすでまつ黒になるので、毎日みがくのは子どもたちのしごとでした。

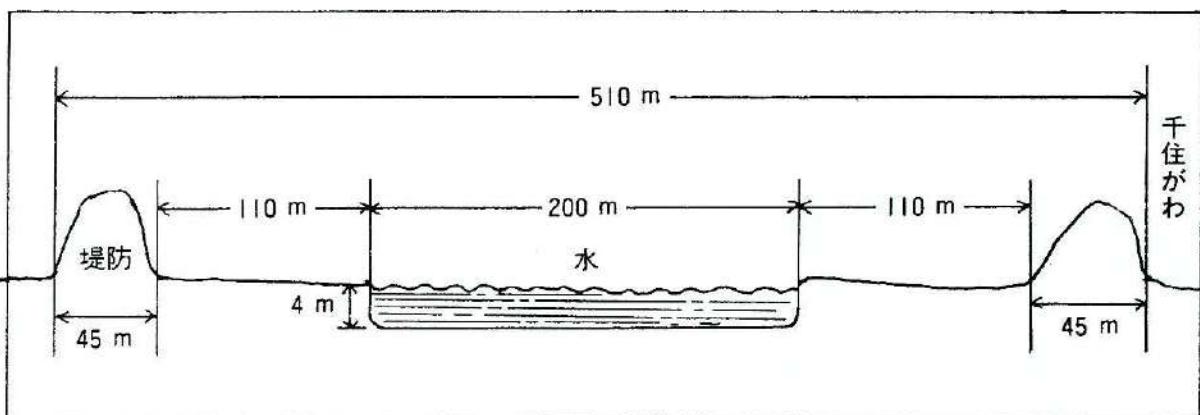
子どもたちは、学校が終わると川で魚つりをしたり、およいだりしてあそびました。春には荒川土手に五色桜がさいてきれいでした。王子の名主の滝の方まであそびに行つたりしました。



明治の大水害



明治の大水害



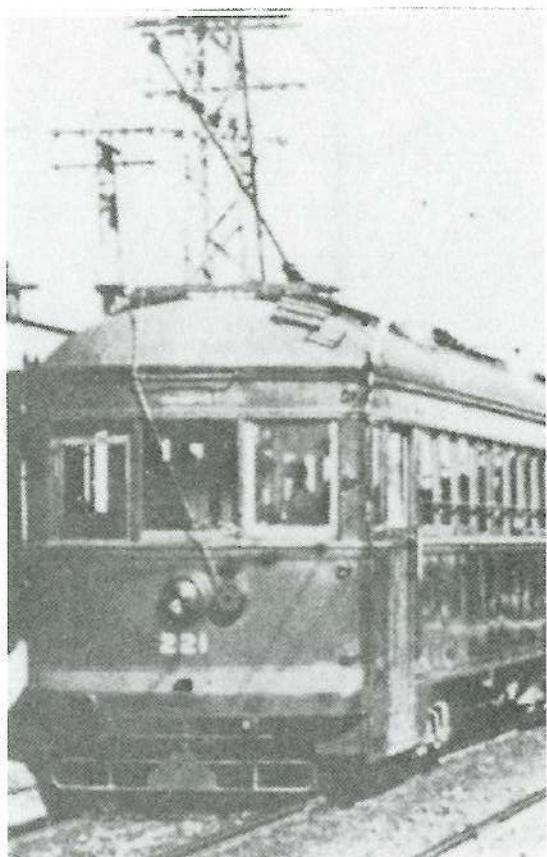
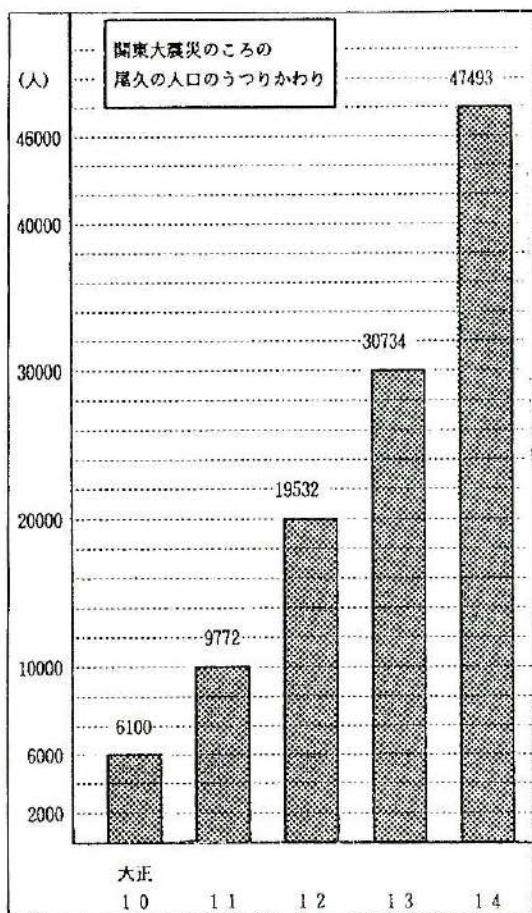
川を治める計画

◎ 水とのたたかい

土地が低いので、雨がふると大水になります。とくに、明治の終わりごろの二回の大水では、水がものすごいきおいで村をおそい、みるみるうちに海のようになつたそうです。死んだり、けがをした人がたくさんでした。

二度と大水がおきないように、荒川の流れを二つにする工事がはじまりました。十四年間かかり、大正十三年に荒川放水路（昭和37年に荒川と改称）が完成しました。

さい害は、水害だけではありませんでした。大正十二年九月一日のお昼ごろ、関東地方に大きな地震がおこりました。これが関東大地震です。南千住や日暮里では駅や工場や家がやけたりこわれたりしました。尾久の人たちがぶじだったようです。



王子電車

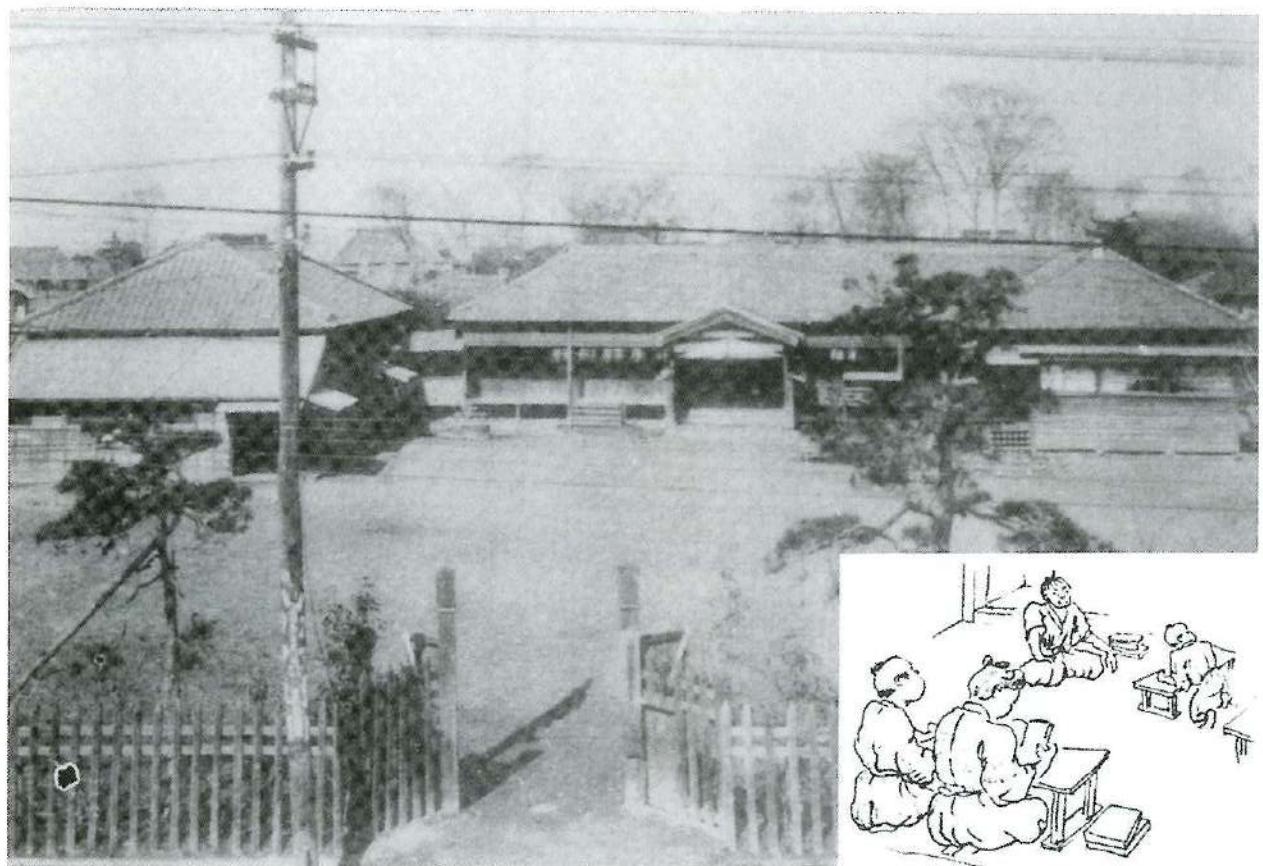
◎ 電車が通って（王電——市電——都電）

明治四十四年、大塚（おおつか）から飛鳥山まで、大正二年には飛鳥山下（栄町）から三ノ輪まで電車が開通しました。王子電気軌道株式会社だつたので「王電」とよばれていきました。今の都電荒川線です。

はじめはのる人が少なく、夏にはほたるをはなしてお客様を集めたりしました。大正十二年の関東大震災のあと、尾久にうつり住む人がふえて電車にのる人も急に多くなりました。

道がたくさんつくられ、バスが通るようになつたり、日暮里や南千住に鉄道がひかれたのもこのころです。

昭和になって、戦争（せんそう）で尾久がやけ野原になつた時も都電の車庫（しゃこ）はのこりました。交通じゅうたいで都電がつぎつぎ廃止（はいし）された時も、地元の人の強いねがいでのこされたのです。



開校したころの尾久小学校

寺子屋のようす

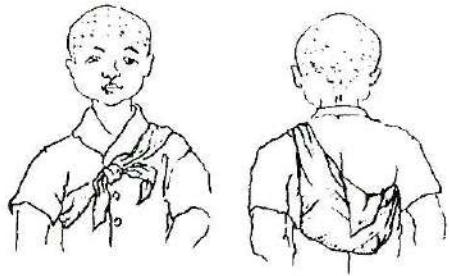
◎ 尾久の小学校のはじまり
江戸時代、上尾久村には華藏院に、下尾久村には満光寺に寺子屋がありましたが、尾久にはじめて学校がつくられたのは、明治十一年でした。華藏院のへやをかりてはじめた田辺小学校です。

明治二十年に、都電「熊野前」近くにうつり、名前を尾久小学校とかえました。さいしょは教室が二つしかなかつたそうです。尾久村役場も学校の建物の中につくられました。

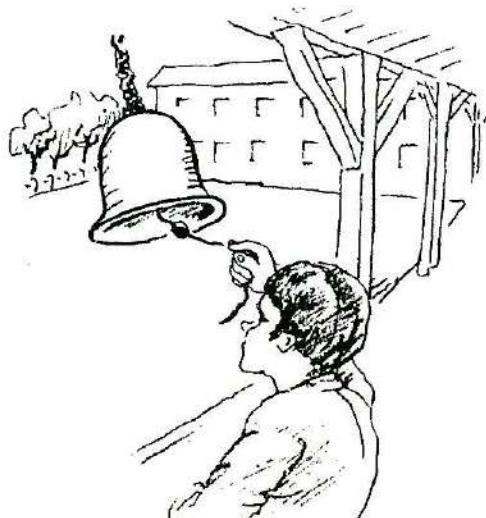
大正になるころは、子どもの数もふえ二階建ての校舎になりました。教室には、大水の時のひなん用の船がありました。

大正十二年には、尾久西小学校ができました。わたしたちの尾久宮前小学校ができたのは昭和九年でした。

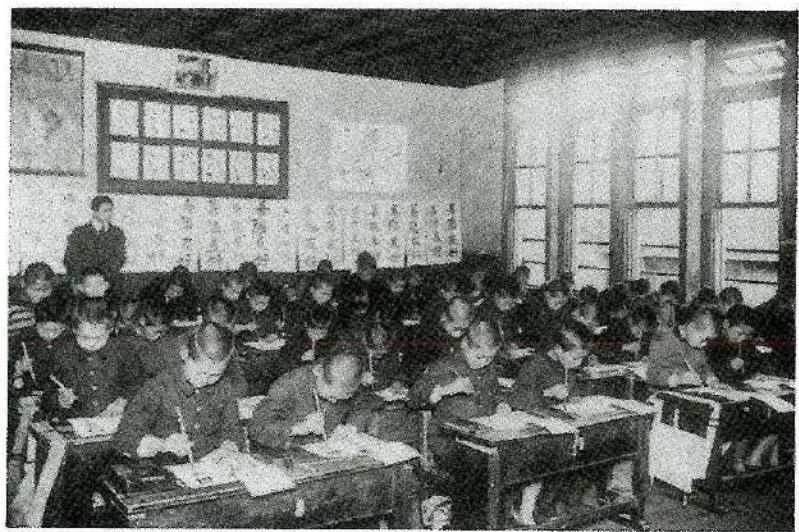
東京市尾久宮前尋常小学校です。



ふろしきをさげた絵



かねの絵



学習のようす

◎ 尾久宮前小学校のあゆみ

宮前小は、関東大震災の教訓を生かして建物の基礎をしつかりきづいた、荒川区ではじめての新築校舎で・学級数二十・児童数千四百十三名、先生二十一名でした。人数が多いので教室はすしづめで、午前のクラスと午後のクラスに分かれた二部授業をしていました。子どもたちは、肩からふろしきづつみをなめにかけて、登下校しました。

授業の合図は、鐘をならしました。

校庭には、今のプールのあたりに池があり魚つりをしてあそびました。

開校した時、荒川土手の五色桜（白、紫、すみぞめ、黄色、ピンク）にちなんで、桜のはなびらと「オグ」の文字をかたどった校章がつくられました。

宮前小学校ができたころ通っていた人の話

わたしが尾久西小学校に入学した時、一学年が十三クラスありました。四年生の時、宮前小学校ができたので、てん校しました。一学年は四クラスで、一、二組は男子クラス、三、四組は女子クラスでした。

そのころは、女の子は、お手玉、おはじき、なわとびなどで遊びました。男の子は、ペーネマやかくれんぼをしました。

また、家の手伝いはよく子守りをしました。

荒川土手で土手すべりをしたり、土手の近くにあつた土管でかくれんぼをしたりしました。

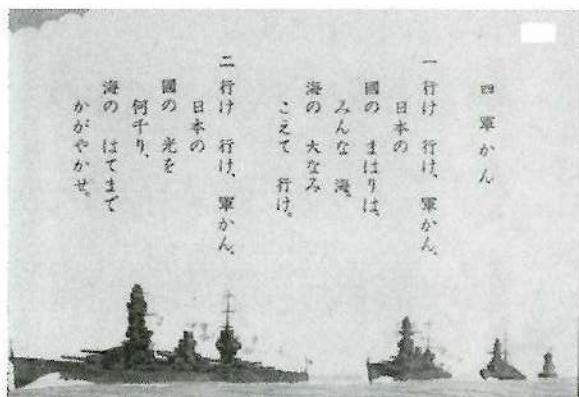
紙芝居屋さんが来たり、だ菓子屋さんでおやつを買つたりしました。

夏になると荒川遊園地で、プールに入つたり金魚すくいやおばけやしき、花火大会を楽しみました。

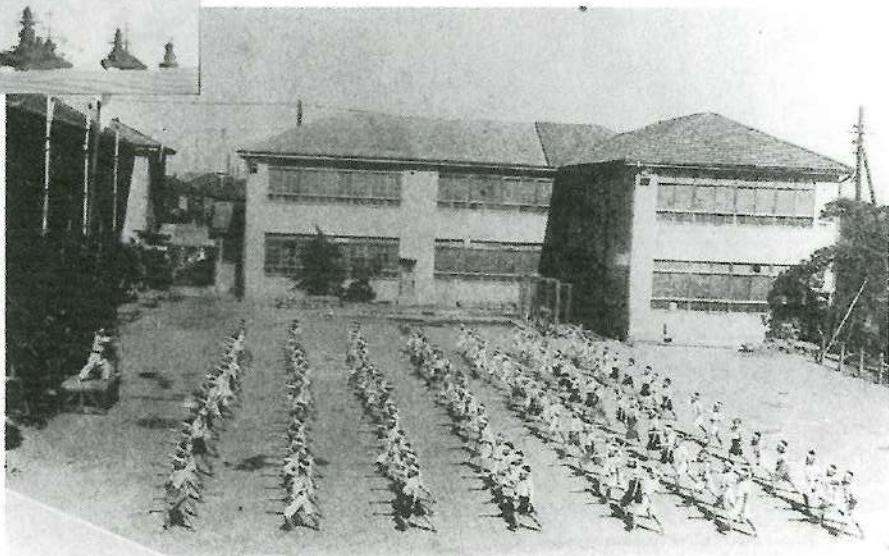
紙芝居

メンコ





戦争中の教科書



戦争中の体育

(四) 戦争にあつたころ

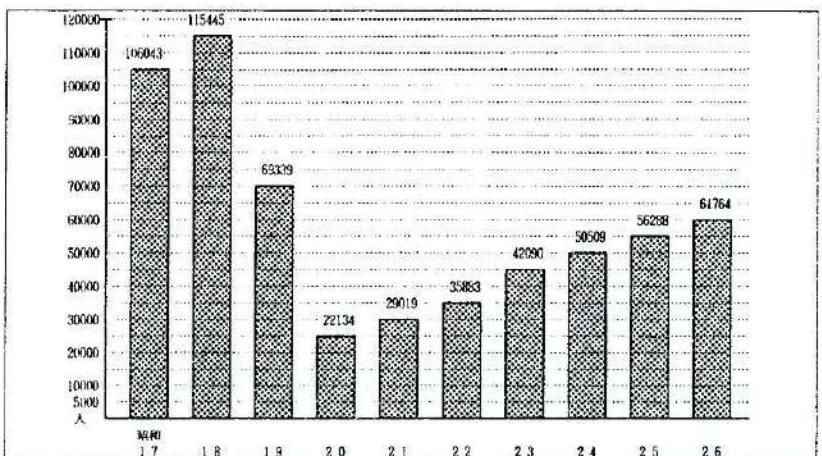
戦争のころ、わたしたちの尾久はどん
なようすだつたのでしよう。
昭和十六年十二月、太平洋戦争がはじまり
ました。

戦争がはじまるとい、人々の生活に大切な食
べ物や衣服などが、だんだん少なくなつてい
きました。米や砂糖など、食料品は配給せい
になり、切符がないと買えなくなりました。
衣服も衣料品切符を持っていかないと売つて
くれませんでした。

商店では、自由に売れるものがなくなつて
きたので、店をしめてしまふところもありま
した。

工場では、戦争に使われるものが作られる
ようになつていきました。

尾久の人口のうつりかわり



戦災のようす
(昭和17.4.18)

荒川区の戦争の被害

死んだ人	大けがをした人	かるいけがをした人
772人	1235人	464人

昭和十七年四月十八日、尾久の町にばくだんが落とされました。死んだり、けがをした人がいました。これは、東京ではじめての空しゅうでした。

十九年になると、ますます戦争ははげしくなり、いなかの親せきをたよって「そかい」するようになりました。いなかのない人は、友だちといつしょに「学どう集団そかい」をしました。こうして、尾久の町の人々が少なくなつていきました。

十九年の終わりから、荒川区は何回も空しゅうをうけました。三月には新三河島、第二峡田小学校の近くにばくだんが落とされ、十九日と二十日も空しゅうがありました。いちばんはげしい三月九日は東京大空襲だいくうしゅうとよばれました。この時だけでも荒川区で死んだ人は四百人以上、家をやかれた人は六万人もいました。



戦災のようす（昭和20年4月、小台）

四月十三日には、尾久はのこっていたところも全部やけてしましました。荒川区には、小学校が三十四校ありましたが、半分の十七校がやけてしまつたのです。

空しゅうのようす

旭電化の近くにばくげきを受けた時、小学校三年生でした。家で昼食をとろうとしてドカンというもののすごい音を聞いたのです。学校にのこっていた子は窓からけむりが見えたそうです。アメリカ軍はB29で東京の鉄道や軍需工場にばくだんを落としました。

昭和二十年三月九日の夜、台東、墨田ほぼ全部と、荒川の東半分が焼け落ちました。浅草から焼けてきて尾久橋あたりまで焼けました。家が密集したところでは逃げられずに隅田川に飛びこんで死んだ人もいたそうです。

四月十三日夜、二回目の東京大空しゅうがありました。宮前小はこのときに焼けました。



そかい先の中沢学寮

赤土小は幸いのこつたので赤土小の教室をかりて勉強したりしました。

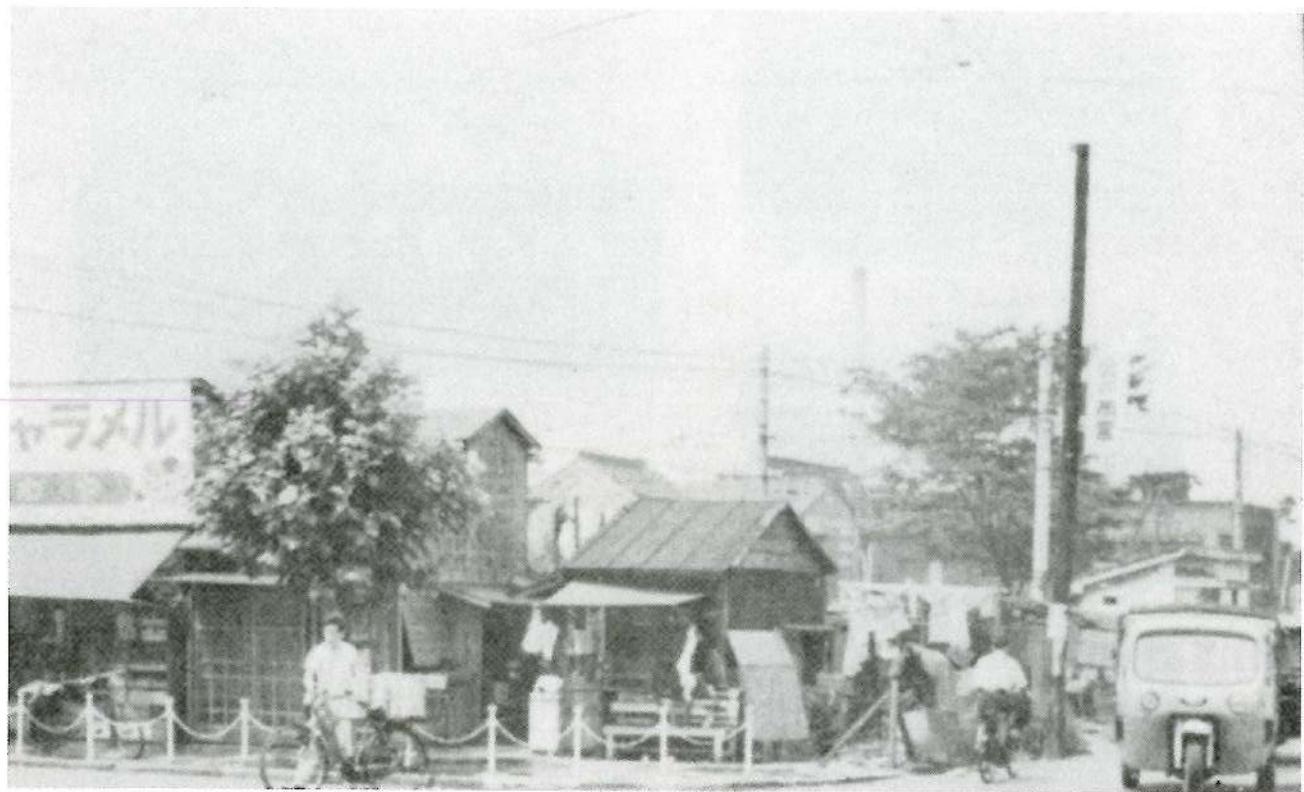
◎ 学どうそかいの話

当時の6年生のお話

昭和十九年八月、三・四・五・六年生は夜八時すぎの汽車にのつて、福島県の須賀川へ行きました。六年生の人数がいちばん多く、八つの旅館に分かれて生活していました。須賀川第一小学校をかりて勉強しました。冬になると雪が多く暖房設備もないのに、勉強はとまつている旅館でしました。

六年生でも夜になると、月を見て泣いている子や、東京行きの汽車にのり、つれもどされる下級生もいました。

食事は、ご飯の中にじやがいもが入っていました。おやつは、初めのうちは、じやがいもの塩ゆでやどうもろこしでした。それでもおなかがすくので、柿の皮まで食べました。また、近所の学校で、さつまいもや枝豆を食べさせてもらいました。



戦後の尾久の町

昭和二十年八月十五日、戦争が終わりました。今まで「そかい」していた人々が帰つてきました。ほかの町から尾久にうつつくる人もいて、少しずつ住む人がふえてきました。やけあとには、つぎつぎに家がたてられ、空き地では野さいなど食べ物を作りました。工場が活動をはじめ、町の中には機械の音が聞こえるようになりました。

工場では、衣料品、食料品、家具など、人々の生活に大切なものが作り出されるようになつてきました。また、商店には、品物がたくさんならぶようになり、戦争中になかつたおかしも買えるようになりました。

道路もどとのい、暗かつた夜の町に電灯がついて映画館も建ちました。テレビがなかつたので映画をみにくる人たちがいて、尾久に活気ができました。

◎ 新しい校舎

昭和二十二年に東京都尾久宮前国民学校から、東京都荒川区立尾久宮前小学校と名前が変わり、PTAができました。

昭和二十四年には新しい校舎が完成しましたが、まだ教室が足りなくて、何回も増築ぞうちくされました。

この年に暑さやさしさにまげず、すばらしいかんきょうの中でたくましくそだつてほしいというねがいをうたつた校歌ができました。

その後、はじめのころに建てた校舎が古くなってきたので、昭和三十四年から、火災かさいに強い鉄筋コンクリート三階建ての校舎になりました。教室もどんどんふえ、体育館もできて、雨の日も運動ができるようになりました。

昭和四十三年には、校庭にうめこみしきのプールがつくられました。



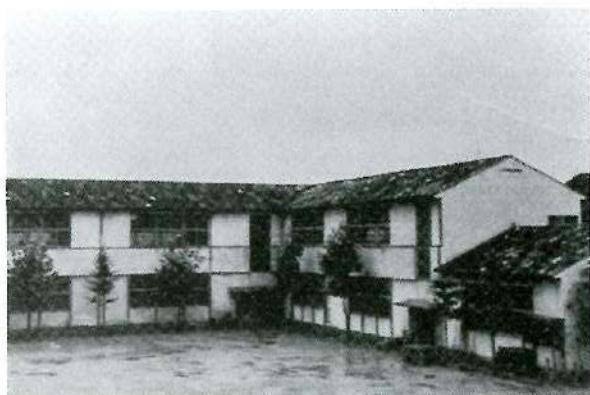
第一期工事が終わる



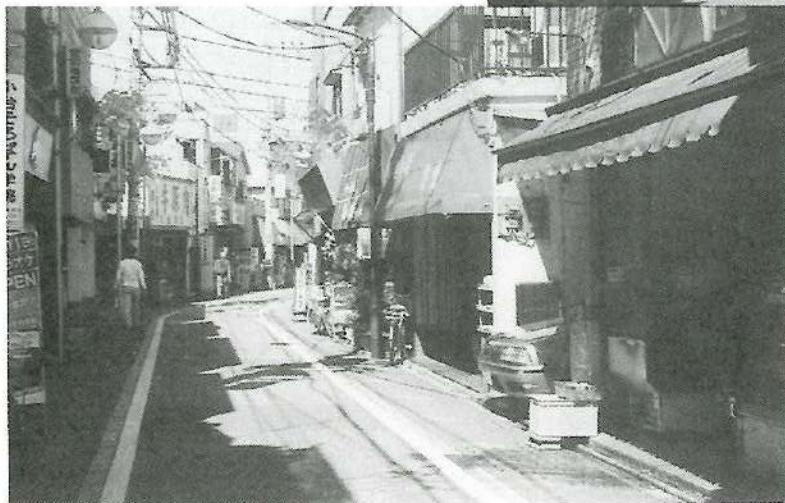
鉄筋校舎ができる



鉄筋校舎の全景



戦後の校舎



宮の前商店街



小台通り商店街

(五) 立ち直ったわたしたちの町

今、わたしたちの尾久はどんな町になつたでしよう。

◎ 商店街

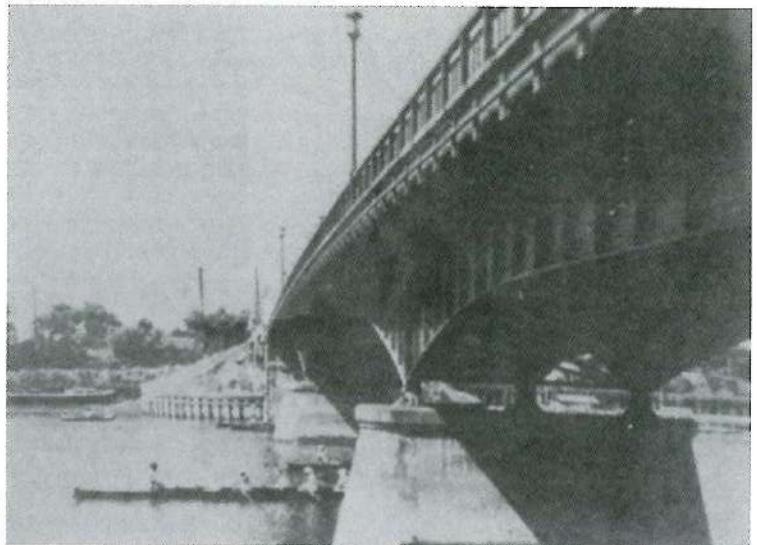
大正二年、王電が開通し、それに合わせて五年には熊野前銀座通りができました。

昭和二十年三月の大空しゅうでは、一部をのこしてやけてしましましたが、今では道路をタイルぱりにするなど立ち直り、たくさんの人でにぎわう商店街になりました。

小台通りでは、ぼうさい防災をかねた通路拡張工かくちょう事がすすんで、高いビルがたちならぶ商店街

に生まれかわりました。

わたしたちの学校のちかくの宮の前商店街も夕方になると買い物をする人たちでにぎわっています。



小台橋ができた



熊野前陸橋ができた

◎ 小台橋、尾久橋ができた

区内の隅田川の橋は、むかしは千住大橋だけでした。わたし舟ふねがつかわれていたのです。「小台の渡し」「熊野の渡し」です。

昭和八年、小台橋がかけられて、小台通りができました。人の行き来はくらべものにならないほど多くなりました。

昭和四十三年になって、尾久橋もかけられ、橋のそばには「小台の渡し」「熊野の渡し」の表示がつくられました。

尾久橋がかけられてからは、交通りょうもだんだん多くなり、昭和五十三年には、熊野前陸橋がつくられました。

こうして、尾久の町はどんどん発展してきました。



あつぱるロード



都立保健科学大学



熊野前商店街



尾久の原公園

◎ 人々のくらし

尾久の町にむかしからあるものでのこしていきたいものは何でしょう。また、もつと住みよい町にするためにはどうすればよいでしょう。

都電は自動車がふえるにつれて、はいしされたところが多く、今のこつてているのは荒川線だけになりました。荒川区民をはじめ、多くの人々の大好きな交通きかんとして利用されています。

旭電化あと地は、めずらしいとんぼや

こん虫、しょく物がある大切な野原としてのこる一方で、尾久の原公園や都立保健科学大学がつくられました。

小台通り、熊野前商店街は、歩道をタイルにしたり、樹木をうえて、買い物する人々によろこばれています。

主な学校行事 (平成16年度)

期	月	行事
第一学期	4	始業式、入学式、授業参観・保護者会、1年生を迎える会、離任式、家庭訪問、定期健康診断(～6月)、小中交流会、演劇鑑賞教室
	5	名刺交換会、創立70周年記念運動会、学校公開週間
	6	6年オーケストラ鑑賞教室、5年清里移動教室、4年社会科見学、職人教室、プール開き、6年下田移動教室
	7	保護者会、終業式、夏季水泳指導、5年下田臨海学園、4年清里高原学園
	8	夏季水泳指導、漢字検定
第二学期	9	始業式、総合防災訓練、夏休み作品展、プール納め、道徳公開講座、個人面談、開校記念日
	10	個人面談、音楽鑑賞教室、学校公開週間、6年連合運動会、3年4年校外学習、就学時健診、1年2年遠足
	11	6年校外学習、3年社会科見学、70周年記念式典、周年集会(宮前子ども祭り)、展覧会
	12	5年校外学習、音楽集会、保護者会、終業式
第三学期	1	始業式、席書会、保護者会、学校公開週間、5年合唱鑑賞教室、クラブ見学
	2	新1年保護者会、小中交流会、5年校外学習、区学力調査、クラブ発表会、6年生を送る会
	3	保護者会、卒業を祝う会、卒業式、終了式

※月1回の交流給食、学期1回の絵手紙交流、お年寄りを招いての交流会、春秋冬のあいさつ運動

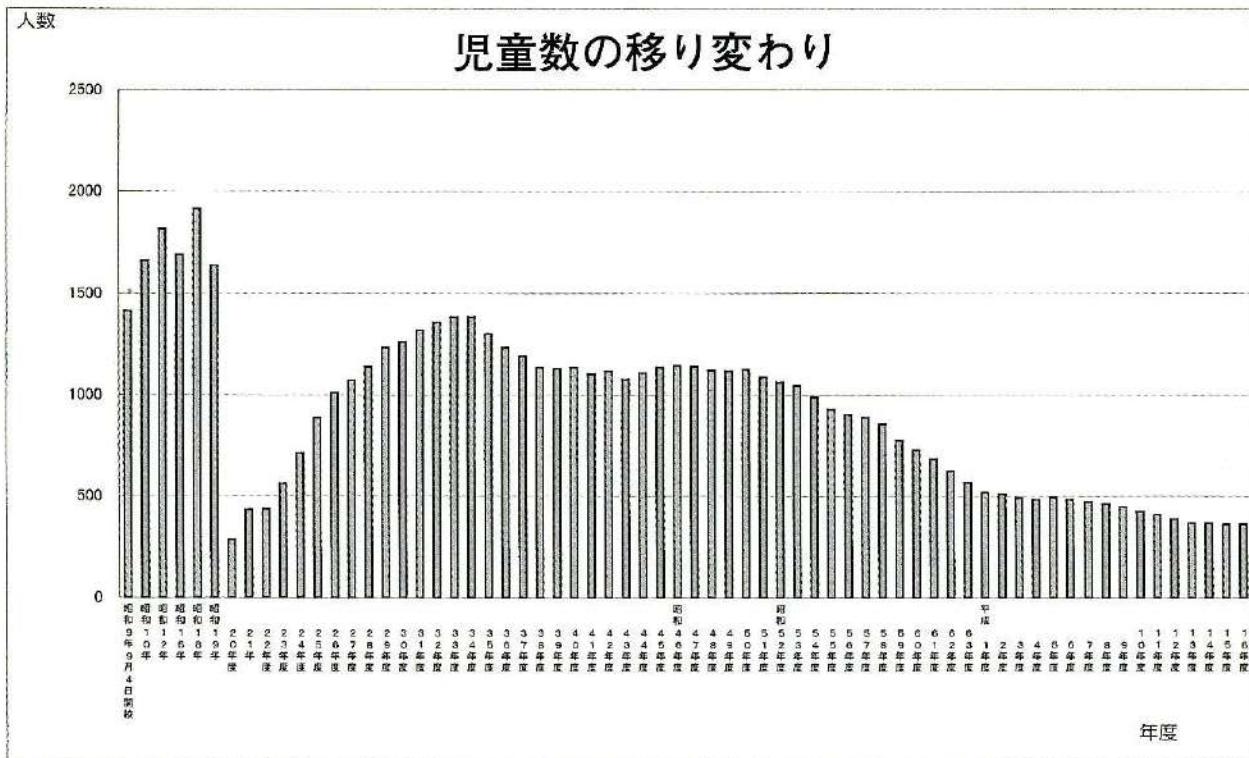
二、今、宮前では

(二) 活気ある学校生活

今、宮前では、「やさしく かしこく たくましく」を学校のめあてとして、教科の学習のほかに、いろいろな集会や学校行事を活発に行っています。代表委員会を中心に「一年生を迎える会」や、各学年が月ごとに校門に立つて行う「あいさつ運動」など、高学年から低学年までの皆が力を合わせてがんばっています。また、「福祉教育」を通して、目や耳の不自由な方たちは、車いすで生活をする方たちとの交流も活発に行われています。私たちは、七十周年を区切りとして、みんなで気持ちを一つにして、宮前小をますますよい学校にしていく努力をしています。

(三) 七十周年を迎えて

長い学校の歴史を経て、今年は学校が誕生してち



去年、校庭も新しく塗りかえられ、とてもきれいになりました。また、それぞれの教室には冷房がつきました。今年は図書室の壁や床の工事をして部屋が見ちがえるようにきれいに明るくなりました。利用する人もこれまでに比べてとても増え、気持ちよく本を読んだり借りたりしています。創立七十周年を迎え、ますます発展する宮前小です。

児童数三百六十一名です。先生は校長先生、教頭先生、一年生から六年生までの学級担任の先生、音楽、図工の専科の先生、算数、英語の講師の先生、養護の先生、理科などの嘱託の先生、その他に、事務主任さんがいます。栄養士さん、学校管理員さん、交通指導員さんがいます。みんな宮前小の子ども達の成長を願い働いています。

ようど七十年目です。今、私たちの尾久宮前小学校は、児童数三百六十一名です。先生は校長先生、教頭先生、一年生から六年生までの学級担任の先生、音楽、図工の専科の先生、算数、英語の講師の先生、養護の先生、理科などの嘱託の先生、その他に、事務主任さんがいます。栄養士さん、学校管理員さん、交通指導員さんがいます。みんな宮前小の子ども達の成長を願い働いています。

三、私たちの町

(二) 学校のまわりのようす

宮前小のまわりのようすは、
どのようになっているのでしょうか。

(1) 屋上から見たようす
おくじょう

学校の屋上へ行つて、学校のまわりをかんさつしま
しょう。

〈かんさつのしかた〉

- ・東西南北の方位を、じしゃくでたしかめる。
- ・遠いところ、近いところで、目立つ建物たてものを見つける。
- ・鉄道、駅、道路、公園などを見つける。

上の四枚の写真は、屋上から方位にあわせて撮つた
写真です。みなさんも、それぞれの方角を見て気がつ
いたことなどをノートにまとめてみましょう。



東



北の方

隅田川、荒川の流れがあり、そこにかかる尾久橋、扇大橋おおぎ、小台橋が見えます。荒川の向こうには、川にそつて高速道路が走り、さらに先には足立区がひろがっています。近くには、都内でただ一つ残っている都電荒川線が走っています。その荒川線にそつて、お正月や祭りの時にとくにぎわう宮前神社や、昔温泉が出たことで有名な碁運寺せきうんじがあります。都電に沿つて少し西よりには、やはり都内ではただ一つの区立の遊園地、荒川遊園地があります。シンボルになつている大きな観覧車かんらんしゃが見えます。水上バスの発着場にもなつていて、町の人々のいこいの場になつています。

東の方

東京電力の建物と大きな鉄塔てつとうが目の前に大きくそびえています。東尾久の町の家々がたくさんたちならん

南



でいます。また、尾久銀座と熊野前商店街があり、買い物をするたくさんの人々で毎日にぎわっています。そのさきには、尾久橋通りがあり、西日暮里から隅田川・荒川を越えて足立区へ走るモノレールの工事が進んでいます。あと数年後には開通の予定です。少し北寄りに目をやると、新しく建てかえられた東京女子医大第二病院の建物が見えます。

南の方

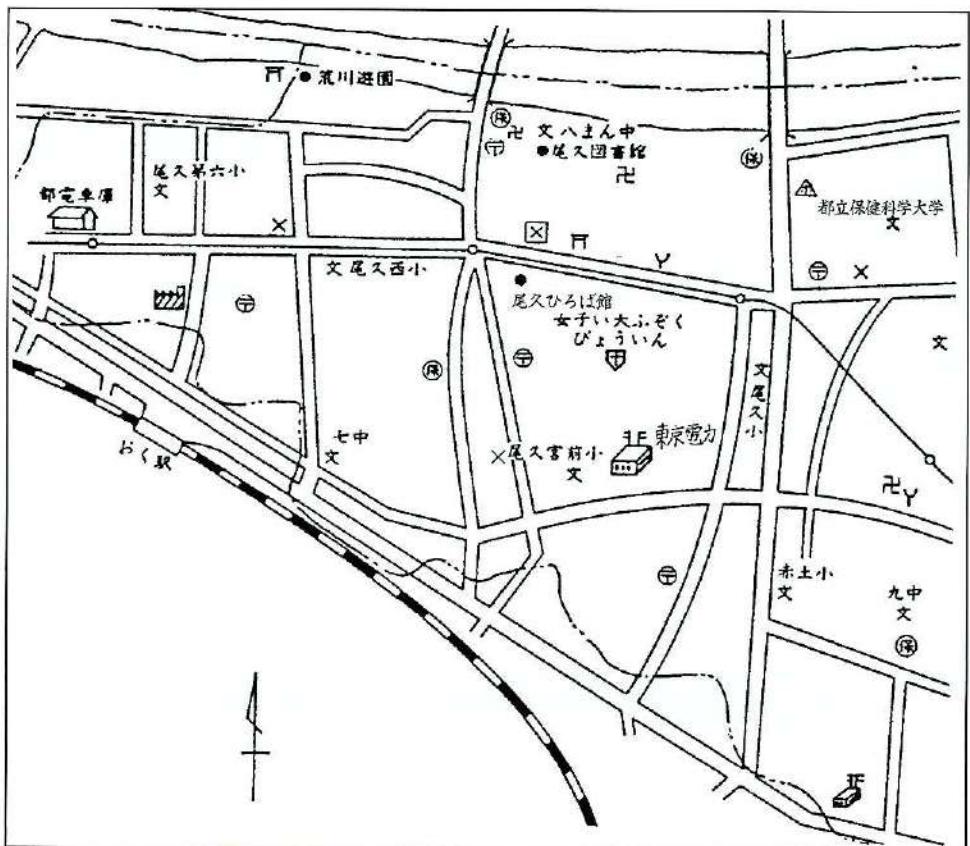
高いビルの間に、家の屋根がたくさん見えます。その先には明治通りがあり、毎日朝から真夜中までたくさんの中車がひつきりなしに通り、絶えることがあります。この道は荒川区内を横切つていて、東の方へは、荒川区役所やサンパール荒川、三ノ輪橋までのびています。明治通りよりさらに南には、京浜東北線、山手線、東北新幹線などの鉄道の線路が走っています。田



端駅までは歩いて十五分ほどかかります。田端駅の向こうには、上野から飛鳥山につづく高台がつづいています。

西の方

西尾久の町の家なみが見えます。今は道路になつていますが、昔ハ幡堀はちまんぼりと呼ばれた用水路が流れていた場所もあります。現在は、その一部がハ幡堀プロムナードとなっています。そこには、宮前小の五十周年を記念して当時の卒業生が描いた絵がタイルになつて道路にはめこまれていて、道行く人の眼を楽しませてくれています。その先には、小台のバス通りがあり、一本奥には、旧小台通りの小台商店街があります。ずっと先に目をやると、飛鳥山、王子があります。南よりには池袋のサンシャイン60のビルが見えます。



わたしたちの尾久

(2) 地図で見たようす

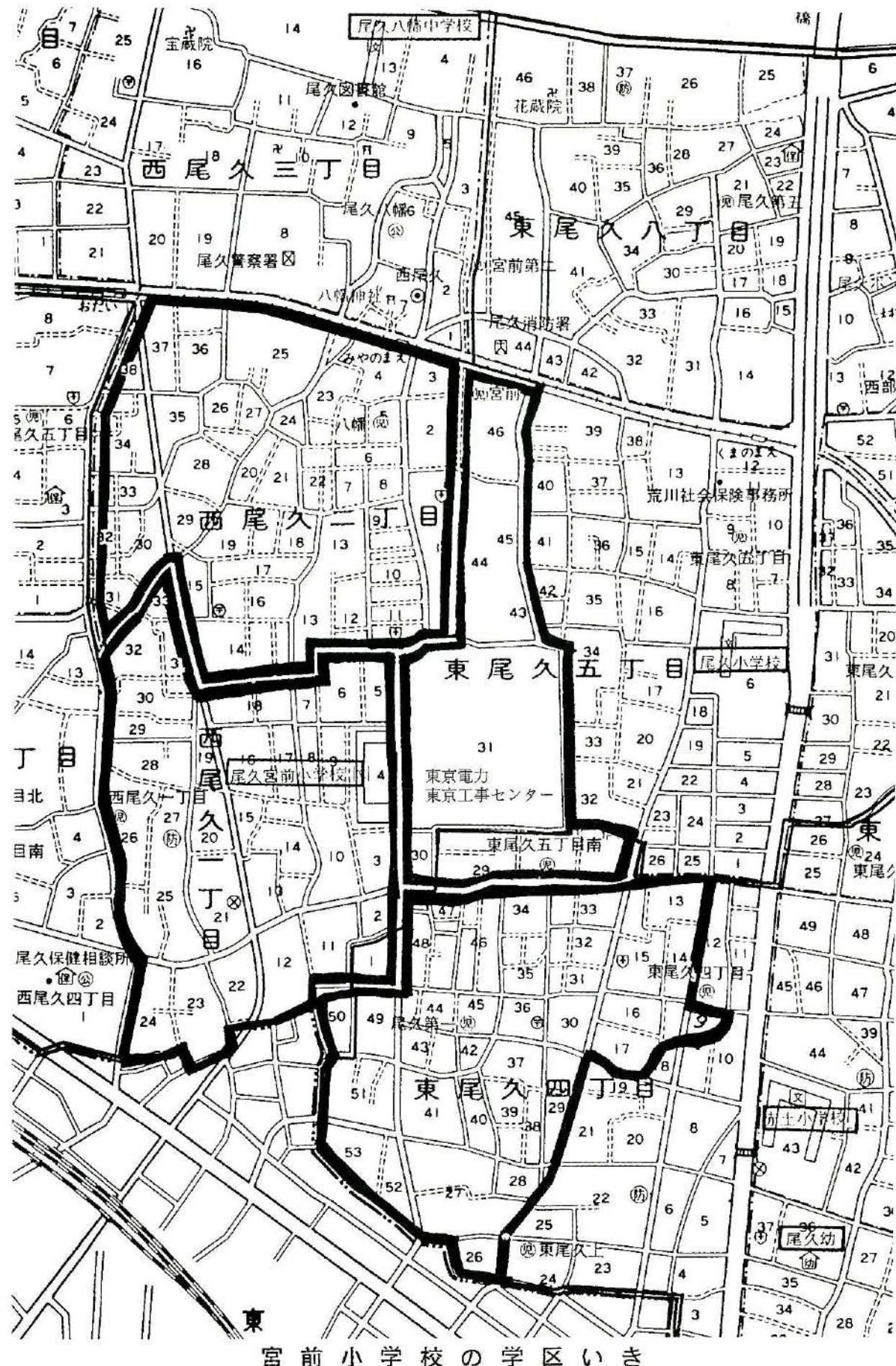
上の地図は、学校のまわりの道路や建物のようすをあらわしたものです。学校のまわりにはどのようなものがあるか、たしかめてみましょう。

(二) 学区いきのようす

宮前小学校の子どもたちは、
どんなところに住んでいるので
しょうか。

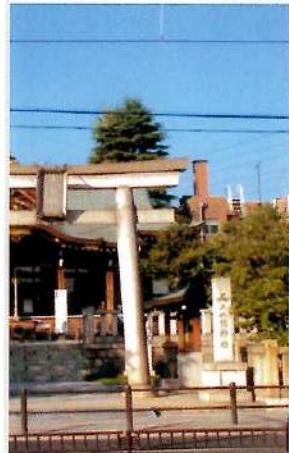
平成十六年十月げんざい、宮前小では三百六十一人の子どもたちが学習しています。住んでいるところは、西尾久一丁目、二丁目、東尾久四丁目、五丁目の四つの地域です。

学区いきの地図を見て、自分の家のあるところをたしかめてみましょう。





荒川（扇大橋から下流を見る）



神社



熊野前



都立保健科学大学



ひこうき公園



尾久の原



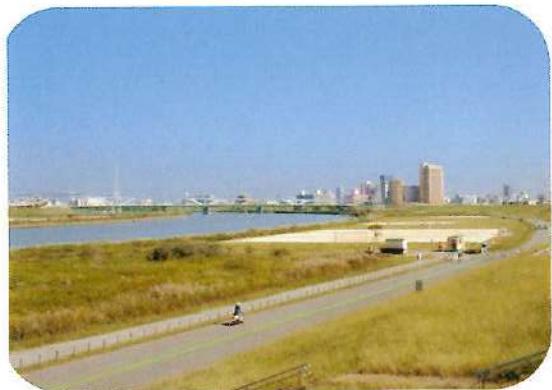
プロムナード



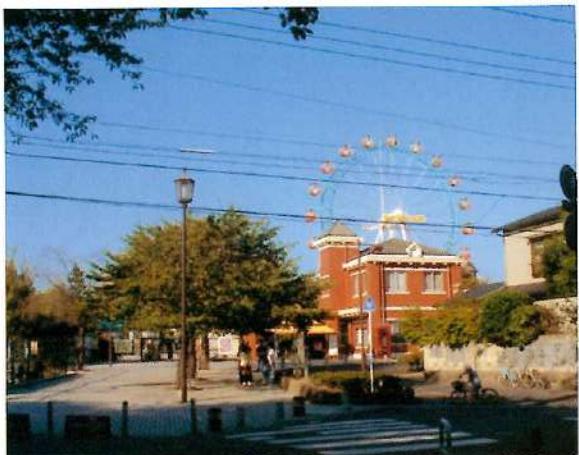
尾久銀座



尾久橋通り



荒川（江北橋から扇大橋を見る）



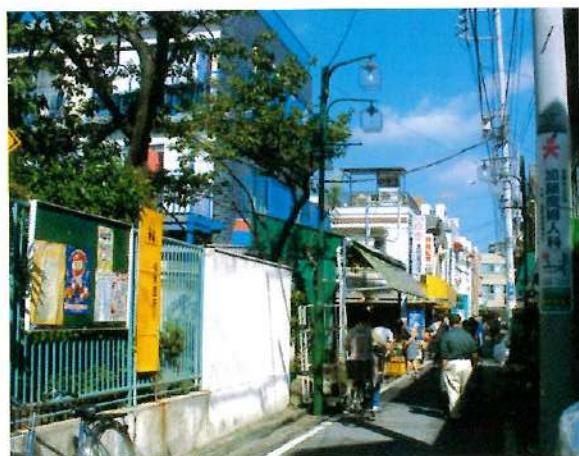
荒川遊園地



小台交差点



八幡



旧小台通り



観雲寺



明治通り



小台通り



八幡堀

四年表

大正	明治
45 れた。 鬼怒川水力電氣株式會社ができ、「赤レンガ」とよば	22 船方の村の一部と上尾久村・下尾久村が合へいして、尾久村ができた。
41 製肥所が西尾久にできた。	27 26 尾久村役場が尾久小学校の中にできた。 今の中荒川遊園のところに、レンガ工場ができた。 バスのさいばいがさかんになった。
	 荒川放水路の工事

1 市電が三の輪橋から千住大橋まで通つ	44 荒川放水路の工事が始まつた。	43 市電が南千住まで通つた。 三河島に電どうがついた。	40 台風で水があふれ、道路が川のようになつた。	38 大水がでて、尾久も水びたしになつた。	29 大水がでた。 常磐線の日暮里・三河島駅間が、開通した。	22 南千住村が町になつた。
------------------------	----------------------	------------------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------------------	-------------------

15	13	12	11	9	6	3	2
王子電車が三の輪橋から飛鳥山まで通った。	旭電化ができた。	尾久の町に温泉が出た。	荒川遊園ができた。	尾久郵便局ができた。	尾久村の人口は、七千五百二十人だつた。	王子電車が三の輪橋から飛鳥山まで通つた。	王子電車が三の輪橋から飛鳥山まで通つた。
下尾久に映画館ができ、まわりがにぎやかになつた。	王子警察署の尾久分署ができた。	尾久西尋常小学校ができた。	赤土尋常小学校ができた。	赤土尋常小学校ができた。	赤土尋常小学校ができた。	王子電車が三の輪橋から飛鳥山まで通つた。	王子電車が三の輪橋から飛鳥山まで通つた。
水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。	水道がひかれた。
尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。	尾久分署が尾久警察署になつた。



荒川遊園

4	3	2	15	12	9	2
日暮里村が町になつた。	日暮里村が町になつた。	日暮里村が町になつた。	日暮里で大火事があつた。	荒川放水路（今の荒川）ができた。	三河島村が町になつた。	日暮里村が町になつた。
明治通りができ、バスが通つた。	明治通りができ、バスが通つた。	明治通りができ、バスが通つた。	明治通りができ、バスが通つた。	田畠が宅地や工場になつた。	関東大震災があつた。	明治通りができ、バスが通つた。
王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。	王子電車が大塚までのがつた。
尾久駅ができた。	尾久駅ができた。	尾久駅ができた。	尾久駅ができた。	尾久駅ができた。	尾久駅ができた。	尾久駅ができた。

昭和

後田尋常小学校ができた。
原尋常高等小学校ができた。

尾久町が一～十丁目に分けられた。

尾久宮前尋常小学校

6 5

小台橋ができた。

尾久宮前小学校

16 9

東京市尾久宮前尋常小学校
ができた。

・校章

・校旗

・落成式

九月三十日

東京市尾久宮前国民学校
となつた。

尾 久

16 10 9

宮の前停留所の近く
に病院ができた。
尾久公園ができた。
(上尾久公園のところ)

荒川第四高等小学校
ができた。



7 6

京成線が通つた。

南千住町・三河島町・尾久町・日暮里
町を合へて、荒川区ができた。

東京市が35区になつた。

荒川消防署ができた。

尾久出張所ができた。

町屋から上野までバスが通つた。

16

太平洋戦争がはじまつた。

昭和

27	26	24	22	21	20	19	18
東京都尾久宮前国民学校 となつた。	集団疎開をはじめた。 戦災で校舎が焼けた。	後田国民学校を合へいた。 東京都荒川区立尾久宮前小学校となつた。	東京都荒川区立尾久宮前小学校がはじまつた。	学校給食がはじまつた。	新しい校舎ができた。 (十教室)	校歌ができた。	六教室ふえた。 六教室ふえて、保健室が できた。

25

20

尾久八丁目・五丁目に
ばくだんが落とさ
れた。



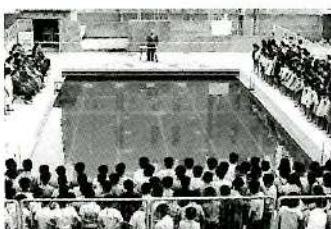
戦後の尾久宮前小学校

(尾久六小のところ)

27		22	20	18
----	--	----	----	----

みなどようご学園ができた。	東京都が二十三区になつた。	太平洋戦争が終わつた。	東京市が東京都になつた。
---------------	---------------	-------------	--------------

44	43	42	39	34	29	28
創立三十五周年を祝つた。 体育館ができ、六教室ふ えて、校舎が完成した。 創立三十周年を祝つた。	三教室ふえた。 プールができた。	九教室ふえた。 創立三十周年を祝つた。	(校舎ができるまでは、 二部授業だつた。)	鉄筋三階建ての校舎にな つた。	創立二十周年を祝つた。 四教室ふえた。	一教室ふえて、職員室と 校長室ができた。



プール落成式

43	37	36	34
----	----	----	----

小台橋小学校ができ
た。
尾久消防署ができた。
尾久八幡中学校がで
きた。

44	43	39	38	37	36	32
----	----	----	----	----	----	----

上尾久グランド・尾
久橋ができた。
トロリーバスがなくなつた。
新しい区役所ができた。
地下鉄千代田線が通つた。
東京オリンピックが開かれた。

トロリーバスが通つた。(明治通り)

56	55	54	52	50	49	46	45
玄関や窓わくがアルミサ ッシになった。 防災スピーカーが屋上に とりつけられた。	全天候型の校庭になつた。	創立四十周年を祝つた。 放送室ができた。 屋上はそう工事が終わつ た。				給食室を直して、大きく した。	屋上の金網 <small>あみ</small> ができた。



46

尾久図書館ができた。
今の東電タワーがで
きた。
(高さ105
m)

54	53	49
荒川自然公園ができた。 区の木「桜」、区の花「つづじ」が決ま つた。		都電荒川線だけがのこつた。

昭和

平成

59

創立五十周年を祝つた。

60

希望の鐘・タイムカプセル塔が完成した。

元

63

校舎内がきれいにぬりかえられ、廊下もはりかえられた。学校の戸じまりが、機械警備になつた。

58

上尾久プールが新しくなつた。

61

荒川遊園の全面改ぞうが始まつた。

元

60

59 58 57

荒川区が五十周年を迎えた。

山梨県高根町に少年自然の家ができ、夏季施設や移動教室が行われている。

荒川区立科学館が、教育センターに統合され、荒川区立教育センターとなつた。

千葉県富津市之上総湊臨海学校が新しくなつた。荒川区総合体育館ができた。

第四日暮里小学校・真土小学校が、統合されて、ひぐらし小学校ができた。荒川第二中学校・南千住中学校が、統合されて南千住第二中学校ができた。

7	6	3	2
がされた。 がされた。	ふれあい教育が始まった。 教室の黒板が新しくなり 床もはりかえられた。 ランチルームができた。 創立六十周年を祝つた。 校舎のたいしん補強工事	校庭が新しくぬりかえられた。	校舎がぬりかえられ、屋上のはそう工事が完成した。
		5	4
	信愛のぞみの郷 <small>(さと)</small> で開園した。	荒川遊園屋内スキー場 ツハウスが開かれた。 尾久の原公園が一部	学校五日制スタート
7	6	5	4
月2回の学校五日制がはじまつた。	尾竹橋中学校と、第六中学校が統合され、原中学校ができた。	第一峠田小学校・第八峠田小学校が統合されて、峠田小学校ができた。 荒川国際交流協会ができた。	一、二年生に「生活科」が誕生

平成

13	12	11	9	8
合宿通学が始まつた。 屋上にフラッグポールが ついた。	体育倉庫ができた。 身障者用のトイレができ た。	校庭にのぼり棒ができ た。	レクトンによる給食がは じまつた。	コンピューター室ができ た。



合宿通学



八幡堀プロムナード

13	12	11	10	9	8
湊健康学園が廃止された。 ができた。	インターネット接続がはじまり、全小学校のホームページができた。 都電荒川線の新停留所「荒川一中前」 ができた。	防災センターができた。 国際理解の一環としての英語教育スタート（フレンドシップスクール） インター接続がはじまり、全小学校のホームページができた。 都電荒川線の新停留所「荒川一中前」 ができた。	ふるさと文化館と南千住図書館ができ た。	アクロスあらかわができた。 アクト21ができた。	ムーブ町屋ができた。 ウイーン市ドナウシュタット区と友好 都市になつた。

16	15	14	13
6年生が外国籍の方を招いてお茶会を開いた。 コンピュータ室のパソコンが新しくなった。 絵手紙ボランティア活動が始まった。 算数科室ができた。 校庭が新しくなりかえられた。 英語室ができた。 図書室のかべがきれいにぬられ、床もはりかえられた。 八幡堀の絵タイル8枚が職員室横に移された。 創立七十周年を祝つた。	6年生が外国籍の方を招いてお茶会を開いた。 コンピュータ室のパソコンが新しくなった。 絵手紙ボランティア活動が始まった。 算数科室ができた。 校庭が新しくなりかえられた。 英語室ができた。 図書室のかべがきれいにぬられ、床もはりかえられた。 八幡堀の絵タイル8枚が職員室横に移された。 創立七十周年を祝つた。	6年生が外国籍の方を招いてお茶会を開いた。 コンピュータ室のパソコンが新しくなった。 絵手紙ボランティア活動が始まった。 算数科室ができた。 校庭が新しくなりかえられた。 英語室ができた。 図書室のかべがきれいにぬられ、床もはりかえられた。 八幡堀の絵タイル8枚が職員室横に移された。 創立七十周年を祝つた。	6年生が外国籍の方を招いてお茶会を開いた。 コンピュータ室のパソコンが新しくなった。 絵手紙ボランティア活動が始まった。 算数科室ができた。 校庭が新しくなりかえられた。 英語室ができた。 図書室のかべがきれいにぬられ、床もはりかえられた。 八幡堀の絵タイル8枚が職員室横に移された。 創立七十周年を祝つた。
15			
 絵タイルが戻ってきた	小台橋小学校が閉校した。		
16	15	14	
小学校で英語の授業がはじまつた。 アーテネオリンピックで北島康介氏が百メートルをとつた。	学校選択の自由化がはじまつた。 第四瑞光小学校・第五瑞光小学校が統合されて、汐入小学校ができた。	三・六年生に「総合的な学習の時間」誕生。	
 英語の授業			

1年1組



おおきくなつたら

かんごふさん さとう れいみ	おすしやさん しらいし ともあき	あいどる おおつか ゆうこ	おはなやさん ・みもりさな	さっかあせんしゅ くらもち けんご	けいさつかん たしろそうま	さっかー せんしゅ ・みやしたたくま
ぱてしえ おおさわ かなこ	やきゅうせんしゅ さとうかける	でんしゃの うんてんしゅ わたなべ だいじろう	さっかあせんしゅ くすのき だいち	おかしやさん もぐしめぐみ	やきゅうせんしゅの はんしんふあん ・ふじのゆうき	はなやさん こばやし けいた
あいどる うらやま ひなた	てにすのせんしゅ おき ・しょうご	ほんやさん ・ねもとちか	おまわりさん にしの はやと	おすしやさん てらしま かおる	すいえいのせんしゅ いわまさ れおな	さっかあせんしゅ むらかみ ・ゆうた
ぱてしえ さとうはるか	かんごふさん たかはし ななこ	がっこうのせんせい やまぐち はじめ	やきゅうせんしゅの はんしんふあん ・こんどうれん	ペっとしょっぷ なかはらさり	さっかあせんしゅ からさわ ゆうた	やきゅうの せんしゅ ・ごわた けんいち
さっかあせんしゅ はたざわ なおき	はやての うんてんしゅ ・ほりゆうだい					

なりたいな
ぼくのゆめ、わたしのゆめ

1年2組



おおきくなつたら

やきゅうのせんしゅになりたい
さいとう
いっせい

やきゅうのせんしゅになりたい
すずきなおたか

かんごふになりたい
せきやゆりこ

おおきくなつたら
かんごふさんになりたいな
しもやしきりな

おおきくなつたら
おはなやさんに
なれますよう。
わたなべかな

おおきくなつたら
やきゅうせんしゅ
になりたい
なかむらいづみ

かんごふさん
になりたい
うえまつゆめ

あいすべりむやさん
になれますよう。
さとうゆな

くくれいぶやさん
になりたいです
いのゆかり

しょうぼうしに
なりたい。
にしのいおり

とらつかいに
なりたい
こいいずみ
しょうじろう

おまわりさん
になりたい
おおばやし
よしおう

さっかあせんしゅ
になりたい
ふくしままさき

てにすせんしゅ
になりたい
おぐまひかる

かきごおりやさん
になりたいです。
あいじまとか

やきゅうせんしゅ
になりたいです。
ふるかわしょうご

こうじをするひと
になりたい
やまぐちしんご

けーきやさん
になりたい。
なかじまもも

おおきくなつたら
やきゅうせんしゅ
になりたい
こはやしゆうすけ

だいくさん
になりたい
むなかたたつひろ

さっかあせんしゅ
になりたい
きとうけいご

おおきくなつたら
ままのあてうたい
のひとになりたい
ましもまりあ

さっかーせんしゅ
になりたい
こんどうまと

おかしやさん
になりたいです。
おおたももこ

ケーきやに
なりたいです。
さとうあかね

おまわりさん
になりたい
みずぬまあきたか

さっかあせんしゅ
になりたい
くどうけい

じえいたいに
なりたい。
たなかひでき

さっかーせんしゅ
になりたい
のせたくろう

おおきくなつたら
しゃちょうさん
になりたいです。
わたなべだけ

なりたいな
ぼくのゆめ、わたしのゆめ

2年1組



やきゅうが
すきです。
えんどうこうた

おりがみ
田中みかこ

ドッヂボール
西野多玖也

うんていで
あそぶのが
おもしろいです。
池田ちづる

トランプ

おりがみ
泉キリア

おりがみで
あそぶのが
大好きです。
たかのはしまい

シールこうかん
やざわかなこ

プランコで
あそぶのが
好きです。
水おちかずさ

ドッヂボール
篠山雄大

サッカー
瀧田一輝

ドッヂボール
野原もね

キャッチボール
篠田直也

ドッヂボール
上場圭祐

おりがみ
くすのきはるか

ドッヂボール
磯田 凌

ローラースケート
矢口友恵

ドッヂボール
千ば大すけ

おりがみ
高橋杏菜

おりがみが
大好きです。
寺平めぐみ

たかおに
せきうちかおり

いちりんしゃ
須藤さおり

ドッヂボール
大野英樹

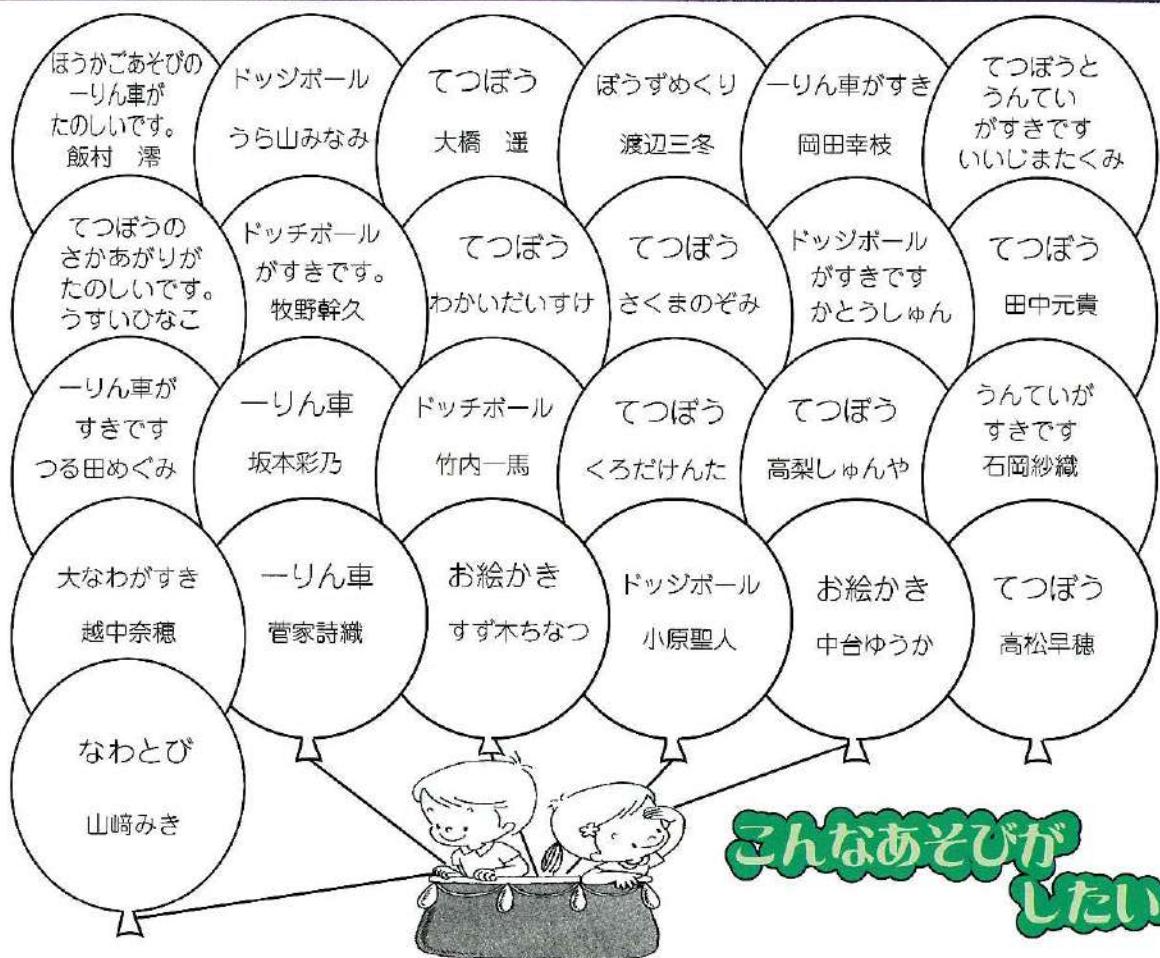
たかおに
よしざわみほ

うんてい
堀 沙慧

こんなあそびがしたい

An illustration of three cartoon cats sitting on a surface.

2年2組





3年1組





3年2組



4年1組



将来の夢

4年2組



将来の夢

This section displays a collection of hand-drawn illustrations from students in 4th grade, 2nd class about their future dreams. Each drawing includes a name, a dream title, and a brief description.

- ぼくのゆめ 重堂さん**
加藤 實え
私は保育園の園長になりたい時、理由は小さい子供が遊びながら成長するからです。
- 私は料理家になりたい。なぜなら、美味しい料理をたくさん作れるからです。**
星王里香
- やさしい ようちゃんの 先生**
石井 真
会いたいときに達入会、たいこ大会を開いているから。
- 野鳥の博士になりたい(鳥が好きだから)**
白石 明帆
- 金**
木下 大介
私は急行バス運転手になりたいです。
高橋 侑絵
- ゲームを作りたい**
戸田大介
私がやりたいのは、運転手ではなくて、ゲームを作りたいです。
高橋 奨穂
- 全日本女子バスケットボール選手になりたい**
村井早耶
私がやりたいのは、バスケットボール選手になります。
高橋 侑絵
- 金子先生みたいに上うな芸術の先生になりたい**
木下 瑞香
私は世界中のアーティストたちの絵を見て、その中で最も美しい絵を見つけて、それをアートとして表現する方法を学びたいです。
- サッカー選手になって、ターフで走りたい**
井上 順規
私はサッカーフィールドで走りたいです。
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- わたしの いきもののかずかんで食べられるようにしたい**
吉川 実由
- わたしは、かんごさんになりたいです**
吉川 大樹
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- やさしいハーバード大学にありたい**
山下恭兵
私はハーバード大学で、やさしい人間になりたいです。
- ヨーロッパで世界一のアーティストになりたい**
横田悠貴
私はヨーロッパで世界一のアーティストになりたいです。
- デザイナーになりたい**
小山田 菜穂
私はデザイナーになりたいです。好きなブランドのデザインを教わるからです。
- テレビ司会者になりたい**
遠藤 実加子
私はテレビ司会者になりたいです。なぜなら、おもしろいからです。
- あたらしい ゲームを作りたい**
宮原 実子
私は新しいゲームを作りたいです。
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- わたしの いきもののかずかんで食べられるようにしたい**
吉川 実由
- わたしは、かんごさんになりたいです**
吉川 大樹
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- デザイナーになりたい**
小山田 菜穂
私はデザイナーになりたいです。好きなブランドのデザインを教わるからです。
- テレビ司会者になりたい**
遠藤 実加子
私はテレビ司会者になりたいです。なぜなら、おもしろいからです。
- あたらしい ゲームを作りたい**
宮原 実子
私は新しいゲームを作りたいです。
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- 横山 大樹**
豊屋になってしまひのけんこうにやくににならなくて、
- くわくわ選手になら、ハンドボールをやりたい**
吉川 大樹
- デザイナーになりたい**
小山田 菜穂
私はデザイナーになりたいです。好きなブランドのデザインを教わるからです。
- テレビ司会者になりたい**
遠藤 実加子
私はテレビ司会者になりたいです。なぜなら、おもしろいからです。
- あたらしい ゲームを作りたい**
宮原 実子
私は新しいゲームを作りたいです。



5年1組

あたらしく 算数室から できました。 桐原 樹	図書室の ゆかがききれいに なるんだよ。 松田 郁実	にわとり、ガ まんたまばを うしでいる。 鎌木 遼	校庭に 光って る。 村田 祐海	大きめの木 晴れでも雨でも ぼくらをまつる南門 金子悠生
いっしょに おはあちゃんと 食べました 相島優太	下手でいい 心をこめた 絵手紙か たのしみだ 石川 葵	クスノチは 宮前小の 宣物 田中貴士	プールが小 渡辺 秀樹	7月 高梨拓也
4、5、6年 楽し合宿 綿賀	自己紹介名前は 指文字 思いはお詰で 井上 真梨子	春の花 さくらの花が きれいだな 保林 香	ヨンホール ヲがこここのつで 尾久のまち 内田 舞	のぞみのさと 笑顔があふれる お手つだい。 渡辺昌代
校庭の 下にプールが よくれてる アブダラヒヤ	4、5、6年 かきの日あせて 練習	2003年 たくさんのか 佐久間 浩	マラソンは12月 たいりょくづく するんだ 細田 美穂	A B C じこびとスゴワ みねみで楽しむ 英語の勉強
昔は 今は 校庭は 土で 横田 遼	新しくなって ほこりなし 佐佐木 月つき	パソコンが パソコンが 佐久間 浩	2003年 いへでしょ 柴谷 美穂	力とつま 毎朝のぞく なれと太く 中村優太
図書室の床 がきれい 西野 紗	車いす 乗っている人を 助ける気持ち 大切に 長谷川 美	宮前の 歴史が見える 田野じ奈	遊ぼうよ みんなで宮前 吉澤 拓巳 吉	ABC じこびとスゴワ みねみで楽しむ 英語の勉強

生き物を大切にする 小学校 勝山俊太	みんながよく元気な学校 片山聰美	友達と協力で生きる 宮前中島千尋	大切に物を使ふいい学校 菊地昂平	みんながいる学校 三田百合金
友達を大切にす 小学校 内田有香	みんながよく元気な学校 宮前小中澤玲	友達がいる宮前小 鶴田甲子	全員がなかよし 宮前小竹内千尋	みんな元気な宮前小 谷澤俊亮
友だちと仲よくできる 宮前小 太陽	宮前は絵手紙で学校 天野豊	生き物を大切にする 学校 高橋萌子	好きよく食べる学校 高橋萌子	元気な活動する学校 宮前小河辺麻里



5年2組

友達がいる宮前で今井宏彰 小学校	絵手紙を心をこめて書く学校 猪野絆子	友達を大切にする 吉澤小	元気な外遊びする学校 植田亮介	みんながいる学校 小熊結美 宮前小
お年よりを大切にする 学校 向美咲	外あそび仲よくあそぶ 宮前小 渡邊淑恵	一つ一つやることに集中 鎌愛	物を大切にする 学校 中村睦美	元気な入浴を明るく食す高木大輔 宮前小



日	親	友	龍	命	夢
留江 雅代	佐藤 亜津	江口 治理	松本 龍	押江 梅	谷中 大起

6年1組

気	魂	記念	優	海	永
楠木 株	加藤 譲	石崎 優光輝	林崎 詩帆	九橋 美樹	島崎 畏

良	体	秋	光	極	真
高山由佳耶	納田 里香	李 雅美	小原愛弓	浜里 大輔	青藤 明実

家	沖	辛	急	楚	初
松井 美里	星 恵理香	文屋 耀祐	内耕令	門内 耕令	阿部 紗葉

命	善	情	友	心	親
山口 沢輔	橋本 ま太	佐藤 実穂哉	大沼 直路	伴藤 美里	桜井 彩美

私の一文字



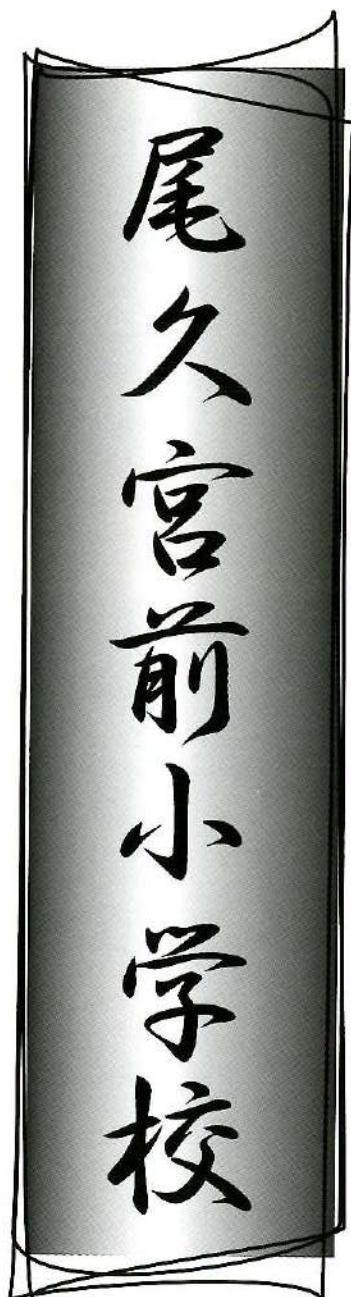
6年2組

私の一文字

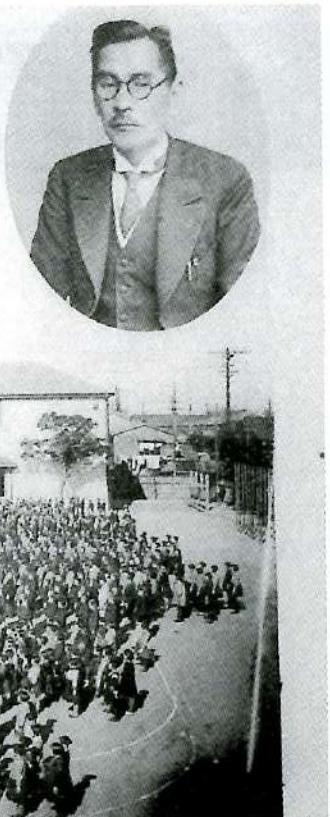
健	雲	覧	明	友	喜
影山吉智 高橋 茜	松本有紀	井汲 麻理 松江 香子	黒川晶代		
鷹	扉	力	成	優	武
高水 高橋 遥平	猿 猿 佐藤 木綿	石井 遥平	稻沢 大也	高橋 淳太	
省	無	夢	快	樂	潤
小山内 源 小澤 信里	三宅 亜紀 三宅 亜紀	武田 梢 武田 梢	松村 陽香	石間 志穂	
桜	美	友	伸	健	命
松岡岬 島田 美佐	鬼 鬼 長谷川 紗	佐藤 健太郎	白崎 浩		
翔	健	夢	非	力	透
志賀圭輔 西田 麻衣	酒井珠未 酒井珠未	大庭 千鶴	竹原 佑樹	太田 無子	

資料編

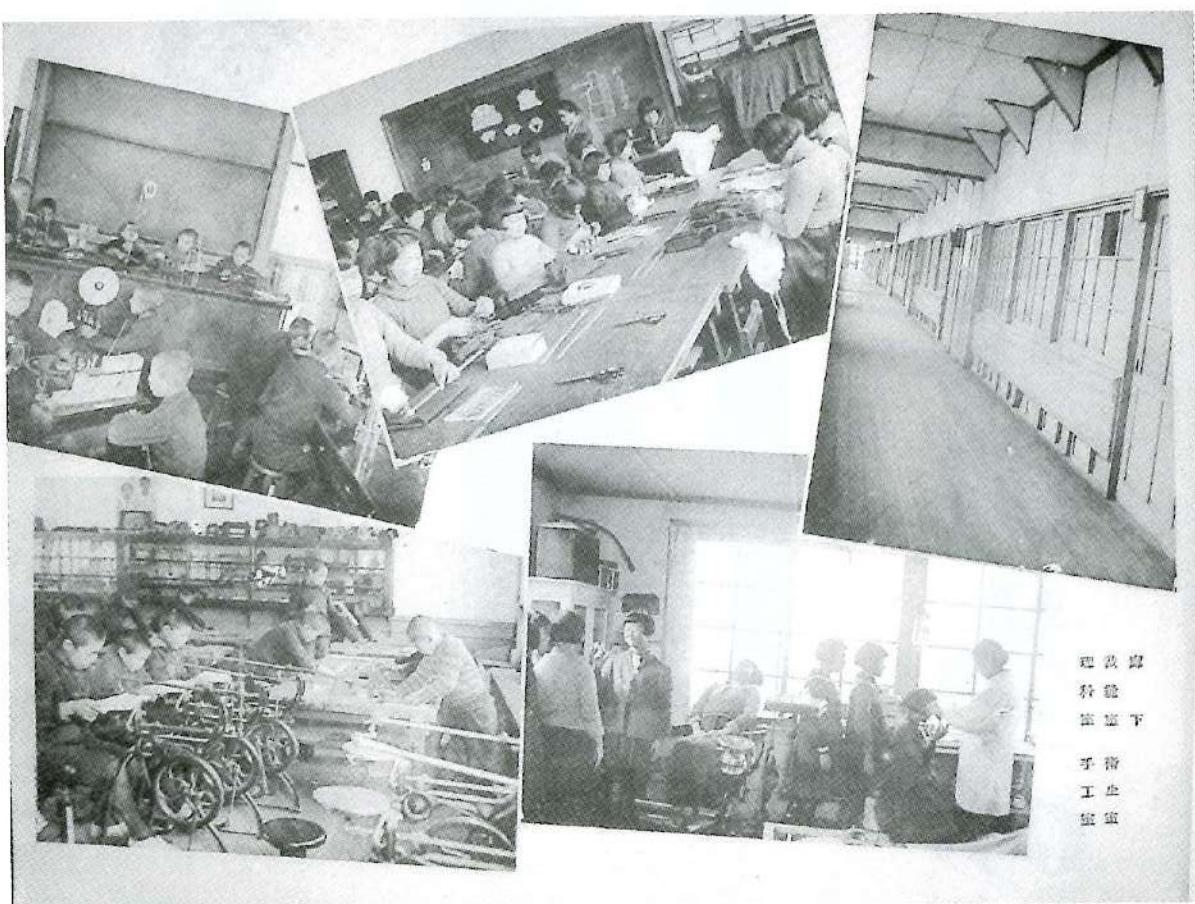
目で見る



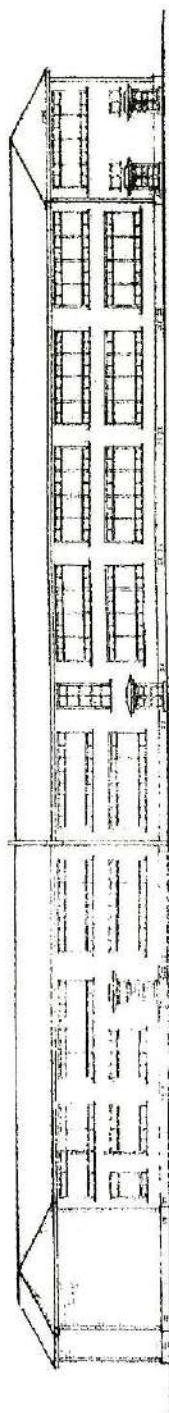
70年の歩み



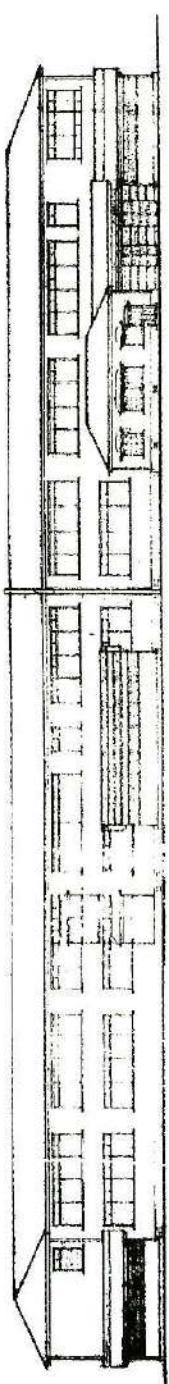
昭和15年の尾久宮前小学校 全校朝会のようす 右上の写真は、初代校長 武政次郎氏



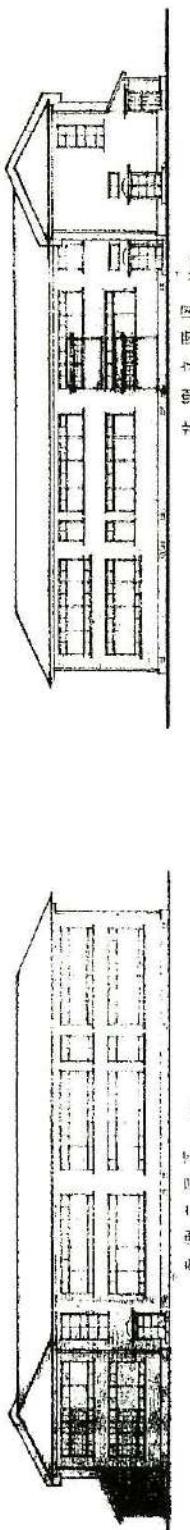
当時の校舎内の教室風景 (このページの写真は、横井朝治氏の昭和15年度卒業アルバムより)



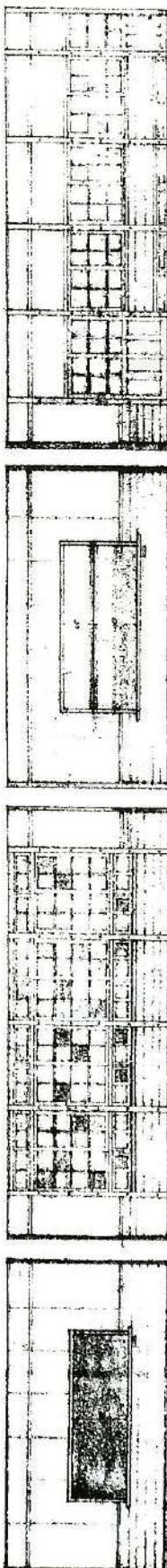
卷之三



卷之三



卷之三



圖書影印

尾久宮前小学校 最初の校舎の設計図

(村田英三郎氏が、都公文書館で探してきてくれました。)

「東京市尾久宮前尋常小学校」の設立認可の書類の写し

(宮前小学校の最初の名前です)

(都公文書館より)

二

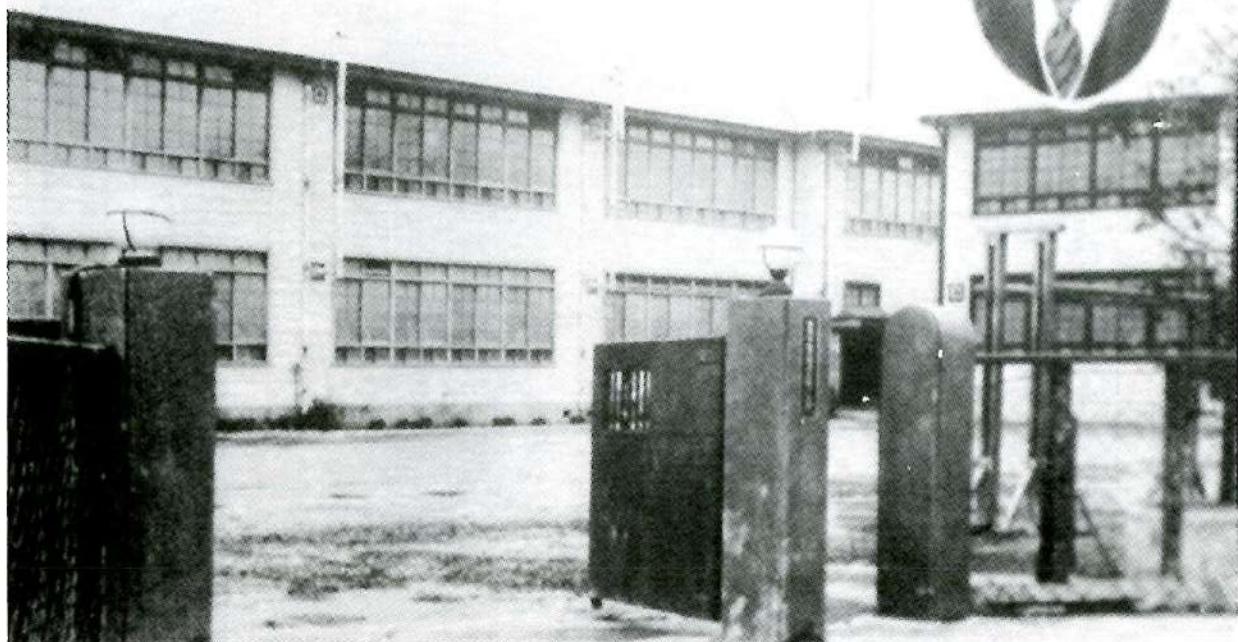
甲

收 昭和九年三月一七日	件
成 成第六〇九號	決
案起 昭和九年二月二日	付
知事	行
學務部長	主
内務部長	管
地方長官	第
教務課長	號
新築主任	號
東京市尾久宮前尋常小學校新築件認可	號
昭和九年三月十六日付教收第一四九六號申請其 市尾久宮前尋常小學校新築件認可ス	號
年月日	知事

東京市
東京市尾久宮前尋常小學校新築件認可

昭和九年三月十六日付教收第一四九六號申請其
市尾久宮前尋常小學校新築件認可ス

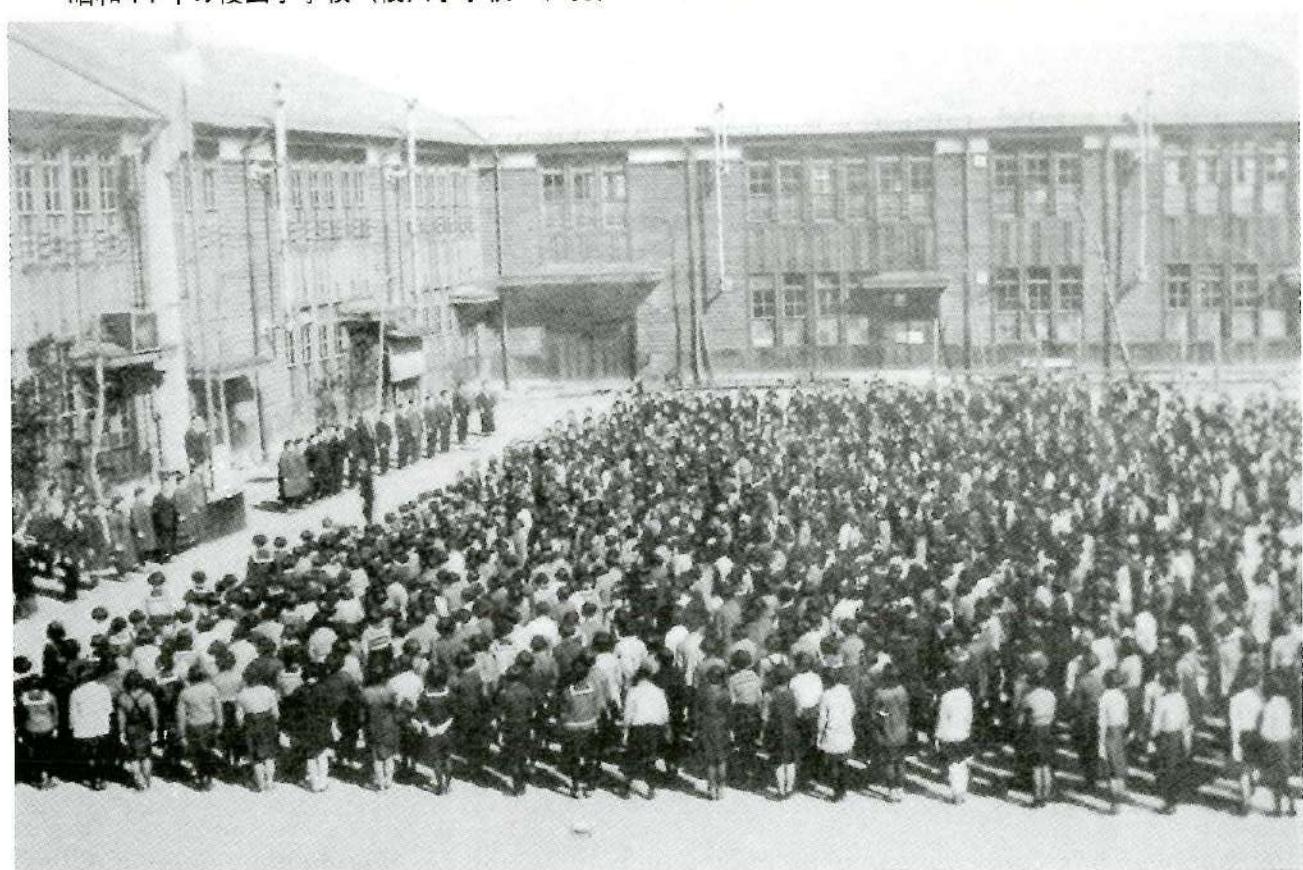
年月日 知事



昭和11年の正門です。校庭のまん中あたりにありました。



昭和14年の後田小学校（後田小学校は、現在の七中の場所にあり、戦後、宮前小に統合された。）



昭和16年の後田小学校 朝会のようす



昭和 14 年の尾久宮前小学校校舎



終戦後、昭和 22 年の航空写真 中央黒い建物は「東電」、その左側が、宮前小のあった「空き地」

東京初空襲

(途中省略)

○約一時間を経て、越路写真店なる者

「遠足記念に写真を撮さして下さい」

昭和十七年四月十八日付けの資料です。東京初空襲に居合わせた先生が、尾久警察署の質問に答えた書類と思われます。学校沿革史の中に、はさんでありました。

昭和十七年四月十八日

尾久付近空襲状況

吉田警部補

四月十八日 敵機を荒川土手に於いて見たる時の事

東京市尾久宮前国民学校訓導

豊枝 喜美照

○四月十八日(土)

昨日の雨空に比しこれは又何と気持ちの好い青空か

今日は一年生初の校外教授の日、笑顔に笑顔、喜び勇んで校門を出る。児童三百七十名、父兄約二百名、時に午前九時三十分なり。

○途中、氏神様八幡神社に参詣し皇軍将士の武運長久を祈る。

左方に当たり ドシンと地応えのある空砲とは思われぬ大音響を聞きたり

ハツと顔を回せば 尾久方面旭電化会社付近より黒煙と土煙とを一緒にせるが如き一大黒柱の中空に上がるを見ると同時にチヨコレート色の見慣れぬ 大型飛行機が 低空極めて低空にてスケッチ第一図の如く。

王子方面と思われる方向へ進行しつつあり瞬間(敵機かな)と思ひたれど、(いや、空襲警報もなし)(待てよ、いやおかしいぞ)などと半信半疑なし居る間に、機は行き過ぎ、川向こうの建物に遮られ見えなくなりたり。

「さあ写すぞ、ハイ笑つて」など言いつづけ、四組を写し、二・五組をすませ、三・六組を終わりし頃、川向こうより空襲警報鳴り響き、同時に高射砲炸裂の音を聞きたり。さてはやはり「敵機の空襲だ」と話しつつあるうち、又一瞬スケッチ第二図の如く敵機を見たるも、すぐ見えなくなりたり。

「ああ憎いやつだ、どこへ行つたか早く撃ち落とせばよいが」などと数分話しつつある時、突如又赤羽方面に敵機現れたり。おそらく先刻の敵機の帰りにあらざるか。その頃遠近の高射砲激烈しきため児童に泣き出す者 相当あり。時に小生は大声にて

「動いてはいけない そのままじつとして居れ。大丈夫だ。」と怒鳴りたり。

村上先生急ぎ堤上に駆け上がり、敵機を見るにスケッチ第三図の如くなりしと言う(小生は見ざりしところ)

児童やや静まれたるにより 眼を敵機に移せば スケッチ第四図の如く、悠々たる様、小面憎く、思わず高射砲願わくば一発命中あれ と念じたり。

時に未だ 友軍機は來たらず。

「ああ早く友軍の戦闘機が来てくれればよいなあ」と残念でたまらず、とその時、敵機は川に沿つて吾等の方向に飛び来たるものゝ如し。

(しまつた)と思つた瞬間 (あつ)機首が少し左に向かいそのまま機影は土手の稜線に隠れたり。スケッチにより今静かに思うに 敵機はこの方面にて一旋回したるものゝ如し。

先刻一度 敵機を見たる苦き体験により今のうちに早く待避するを可ならんと信じ、急ぎ一同を連れて付近の適当なる民家数軒に待避せり。

時に友軍機 無数爆音勇ましく上空に現れたり。

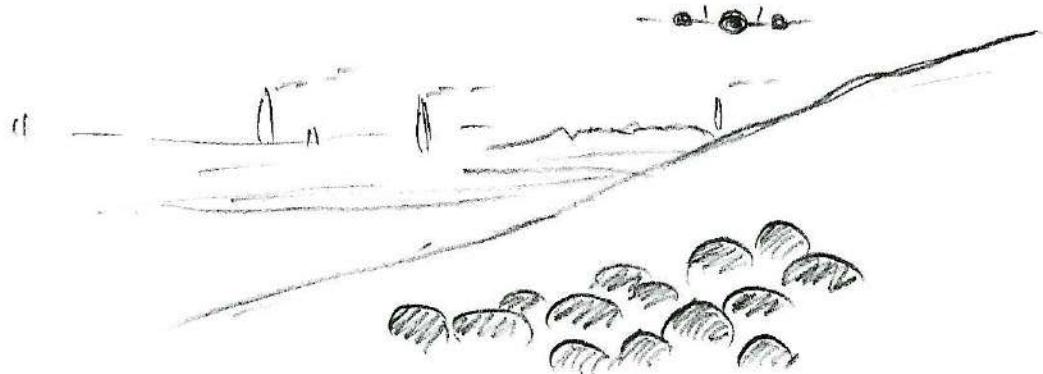
○午後三時四十分 空襲警報解除 帰路につく。かくて樂しき遠足は心配に変わりたるも、しかし幸い全員無事に帰校するを得しは、全く神の御加護によるものにして唯々感謝に堪えざる処なり。時に、四時三十分。

以上

第二図



第四図



校舎全焼す

昭和二十年四月十三日

尾久宮前小学校は、夜十一時頃、空襲によつて全焼してしまいました。その時のようすを、二十周年記念誌「座談会」で、長先生が話していました。

(中略)

司会 三月十日の空襲からですね。校舎が全焼するまで、まあその当時に学校にも重要書類があつたと思うんですが、その持出しへは御苦心なさつたことだと思いますが…

長え、三月十日の空襲で尾久本校は焼けましたが、その時私の学校の先生で、小多先生とか水野谷さん、佐藤君とかが被害を受けられたのです。そして三月十日のあの大空襲で、尾久本校が焼けた為、仮校舎を十一日から設けたのです。事務室一つと教室が二つ、合計三教室を御用立てたのであります。それから、父兄たちを集め、第二回の集団疎開をやらねばならぬというので極力疎開をすゝめたのです。

ところが父兄たちは「三五キロつて、そん

な大きなものが出来ますか」とおっしゃる「いや、大人のものもそれに入れていく。小さいものは大きくなる。なんでも入れてもつていく…」

戦争当時の児童の異動

昭 18. 3. 1	1,913名
タク 7. 1	1,883名
タク 19. 4. 28	1,635名
タク 8. 22	第一回集団疎開 疎開者 364名 職員 8名
タク 20. 3. 24	第二回集団疎開 疎開者 65名 縁故疎開 559名
タク 4. 13	午後 11 時 空襲罹災
タク 4. 19	第三回集団疎開 疎開者 14名
タク 5. 1	赤土国民学校を仮校舎として学習 48名
タク 5. 2	第四回集団疎開

疎開地には空襲はないものと考えなければならぬ。で、疎開地は大丈夫であるからというわけで第二回の疎開を三月二十六日にやりました。それから四月から学校が始まってしまいました。毎日先生方を三班にわけて

交代にやつていたのであります。空襲が始まると同時に、校門に向かつて左がわの方に石碑がありますが、そこに井戸があり井戸のそばに防空壕があります。それに重要書類を運んだのであります。丁度四月十三日は私のこちらに泊る番になつてしまして、この時十人ばかりの人がいらっしゃったのですが、警戒警報が出ると、…その時は七時半から八時頃だったと思いますが、重要書類を外に出していたのを全部リックサックにつめたのであります。九時頃になつて空襲警報がなり出したので焼夷弾が落ちました。……十時半頃だつたでしようかそれは俗に云う親子焼夷弾といつたのです。私達は空襲警報と同時に防空壕にわかれ入つていたのであります。が、ドカーンといつたので、「さあ落ちた」というところでかけつけていつてみたところが校舎は全部火の海となつていていたのであります。「もうだめだ」というので私はすぐさま重要書類をいそいで出しに行つたのですが、まあ、防火には努めましたがあちらこちらに逃げまわるというふうで…、もうこれはしようがない。生命あつてのものだねだということに考えたわけですか。

だんだん夜が明けるに従つて、近所はすっかり焼野原となつてゐる。どの人も防空

頭巾をかぶりました、す、で真黒な顔なんです。ところが七時半か八時頃だったでしょ、会長さんがいらっしゃいまして真黒な顔をし防空頭巾をかぶつていらつしゃつた。

「会長さん！ とうとうやられちゃつた」

「うん僕もやられちゃつたんだ、君ばかりではないんだ」「すみません僕は十人も居てやられちゃつたんです。この通りです、もう何も働く力はありません、ごめんなさい」先日おつしやつたように「君心配するな、また復興させてやるから」とお力をつけて下さった。それに力を得て、先生方にはとにかく自分の家はどうだろか一応帰つては、ということで帰つてもらいました。

私はとほとぼと焼け跡を歩きまして、区役所に行って「どうとう学校は焼けた、全

部焼けてこのリュックサックに背負つているより外は何もないんだ。金庫の中にも金は入れてあります、ゆかがおちましたから下にひっくりかえつて居ます。火が消えて冷えれば中に残つていてると思います」と、まあこんな風に申しまして、十時頃焼けたと口頭で届けだけして学校に帰り、それから家に帰つたんです。

十四日に第三回の疎開をやる予定のところを焼いたのですから、その連絡をとるために、校庭に大きな立札をたてまして、事

務所を尾久小学校におく、けれども教室は赤土を借りると、ということに方針を決めまして、尾久小学校の今の物置で執務したわけです。

司会 昭和二十年の四月十四日に校舎が全

焼したので仮教室を今三丁目の町会事務所に設けて、今の尾久小学校の物置きで先生方は事務を取られた。それから第三回の集団疎開があつて、十四人の児童が行つた。それから赤土小学校を仮校舎として、授業を始めたわけです。

尚五月二日には第四回集団疎開が行われ、この時は五、六人だったそうです。五月八日にはドイツの無条件降伏があり、長沼校長が御就任になつたのであります。それから広島に原子爆弾が投下されたわけであります。

八月十五日に無条件降伏。冷厳な審判がここに下つたのであります。そしてお互に言うに言わぬ気持ちであつたことは皆様も御記憶にあることと存じます。そこで終戦の勅語が下り、長い間の戦争も終わつたわけであります。この間赤土小学校を仮校舎として授業を始めたのですが、校長先生に一つこの間のお話を願いたいと思ひます。

長 この第三回集団疎開を致しまして、もうこれで落ち着いたからというので、赤土

小学校に教室を借りましてやることになつたのですが、赤土の学校の前にですね、三丁目の事務所があり、そこを借りて小さい子供の授業をして居つたのです。事務所は赤土校に置いたのです。

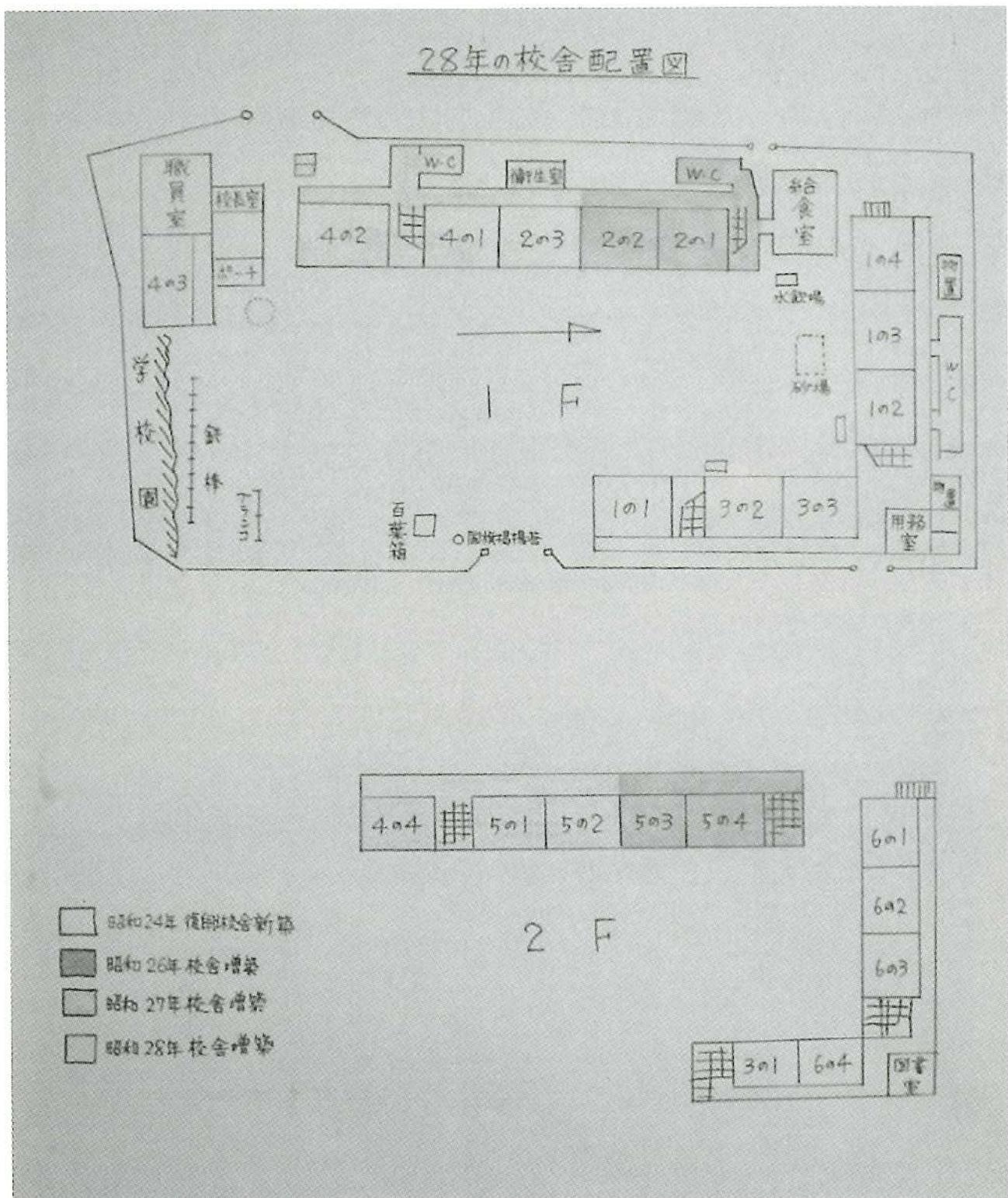
長沼校長が六月の八日頃でございましたよ、夕方焼跡においてになりました。その時にいろいろな事情を申し上げ、すぐさま長沼校長は学寮長として須賀川の方においでを願つたという具合でございましたが、七月に入りますと、もう日本は敗け戦

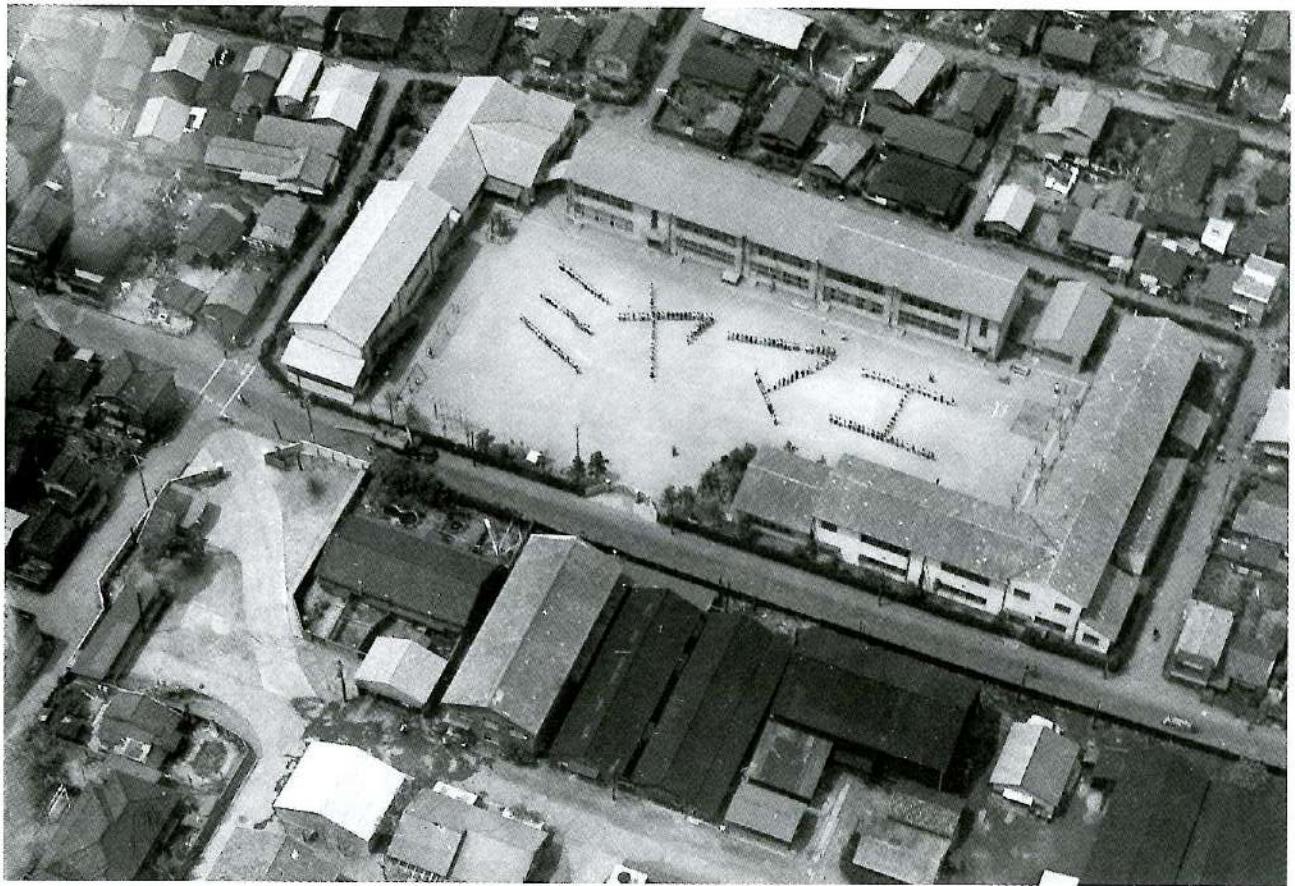
(以下略)



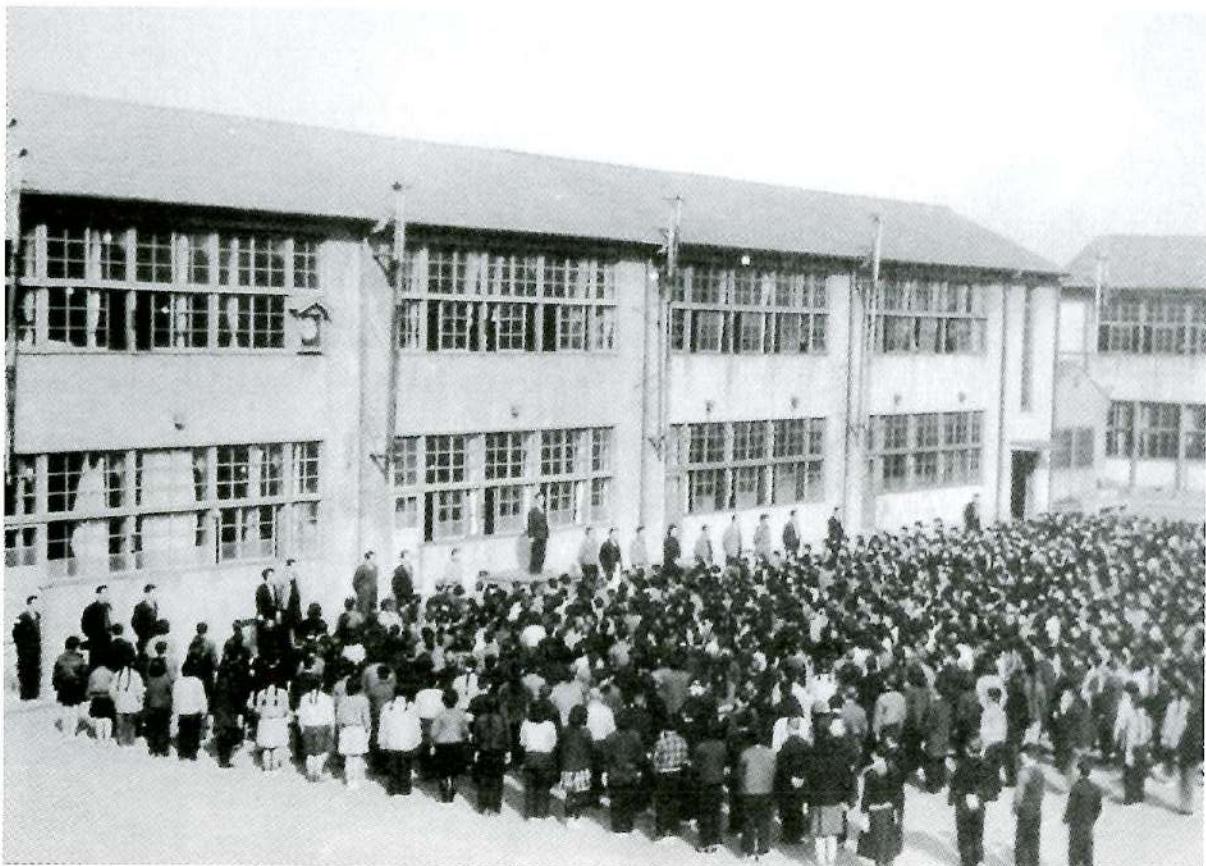
昭和 28 年の校舎配置図

次のページの航空写真と見比べてください

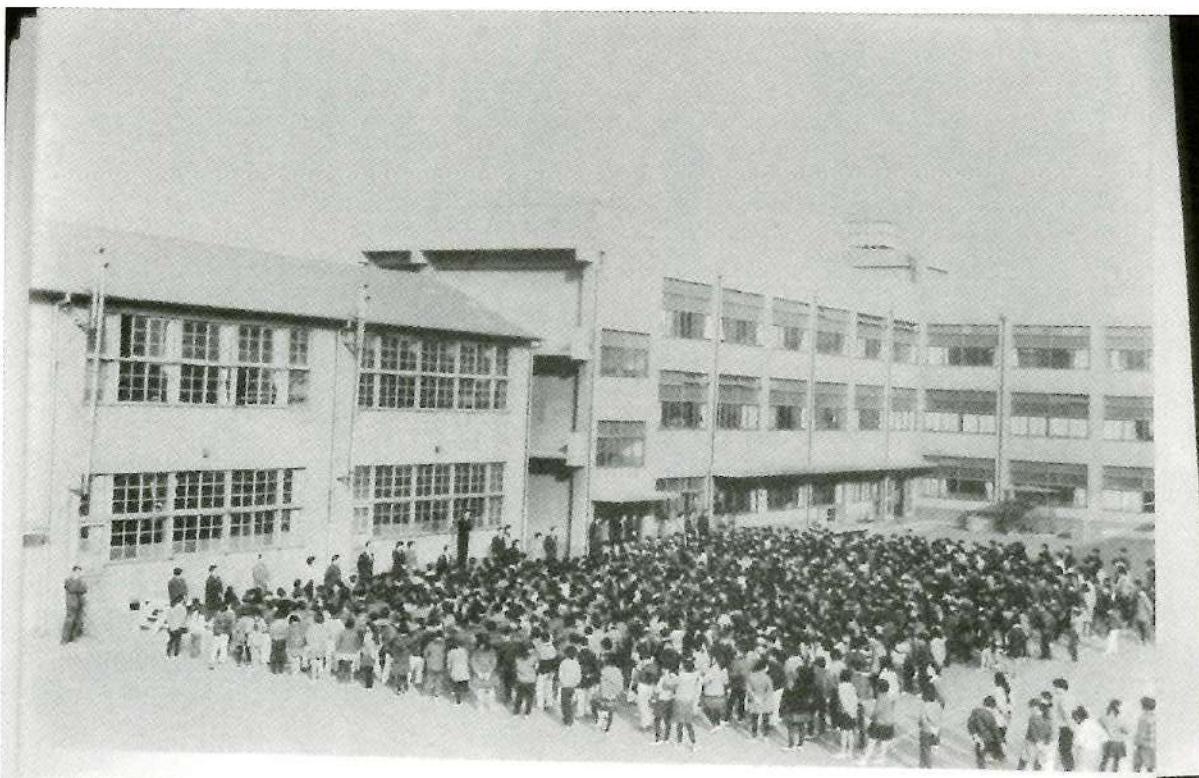




昭和 30 年頃の尾久宮前小学校 航空写真



昭和 32 年の尾久宮前小学校 朝会のようす



鉄筋と木造(38年)

昭和 38 年の尾久宮前小学校 朝会のようす



平成 16 年 9 月 14 日の全校朝会

「PTAについて」

第二十二代PTA会長 松岡正道

六十周年当時は、隔週五日制とゆとり教育・統廃合・給食の外部委託・ふれあいまつりでの地域との交流・児童の権利条約の批准と様々な出来事があった事、そして、校長先生・諸先生方・PTAの役員会員の皆様・町会を始め地域の皆様の絶大なご協力ご指導を頂きましたことが思い出されます。親が学校に求めることは今も昔もさほど変わりないと思います。我が子が希望通り成長してくれさえすればそれでよいのであり、親にとっての良い先生とは、優しく・親切で面倒見が良く・包容力の豊かな母性的な先生であり、学校・社会における悪行に対して毅然たる態度を示す厳父的な先生は望まれています。果たして、子どもは権利が保障されるだけで責任と義務は負わないで良いのでしょうか。家庭教育と学校教育が混同されている事も昔から疑問に感じます。

「地域の皆様に感謝」

第二十三代PTA会長 上澤一

創立七十周年、誠におめでとうございます。

副会長、会長時代を通して、たくさんの思い出を作らせて頂きました。特に『ふれあいまつり』では、お忙しい中、各町会の方々が快く協力して下さいました。コマまわしながら非常に懐かしく、楽しかったことを思い出します。(ベーゴマ大好き少年でした)。他にも色々と御世話になりましたが尾久宮前小学校がいかに地域の沢山の方々に見守られ、育んで頂いていることを実感致しました。私自身、これからも地域の大人の一人として、尾久宮前小学校の益々のご発展と、子供たちの成長を祈念し、応援して参ります。

PTAの歴史

「PTAの思い出」

第二十四代PTA会長 星美穂

尾久宮前小学校七十周年おめでとうございます。小さかつた私の子どもも今では二人共高校生となり、PTAの会長を務めさせて頂いたのもとても昔の事の様に思います。当時は仕事を持つ母親がどんどん増えはじめPTAへの関心が少しずつ薄れてきて、どの様な活動を行えば皆さんのが積極的に参加して下さるのだろうと思いつ悩んだ時期がありました。

そんな中で取り組んだ『PTAふれあいまつり』にたくさんの方々が協力して下さり子ども達の楽しそうな姿を目にする事ができました事が一番の思い出となつております。その『PTAふれあいまつり』を現PTAの方々がさらに盛大に存続して頂いている事を嬉しく思っています。当時、何をして良いのか分からず右往左往していた私を助けて下さった大浦先生、吉野先生、PTA役員の方々に大変感謝しています。

「思い出の曲」

第二十五代PTA会長 三宅英一郎

創立七十周年おめでとうございます。

二年間会長を務めさせて頂きましたが、この頃「世界に一つだけの花」という歌が流行していました。この歌詞の「色とりどりのたくさんの花、みんな誇らしげに胸を張つて咲いている。どれもがみんな綺麗だね。」というフレーズが大好きで、今でもこの歌を聴くと、あどけなかつた新入生達が逞しく卒業していく姿に重なってしまいます。小学校は、自意識が芽生える向上心豊かな世界だと思います。教育はもちろんの事、これからも素晴らしい人間形成の場である事を願っています。『信頼』と『和』を備えた素晴らしいPTA役員の方々に恵まれ、真剣に議論し、時には雑談し談笑した日々が今懐かしく楽しく思い出されます。皆様ありがとうございました。

PTAこの十年

この十年を振り返ると、平成四年度月一回の学校週五日制が導入され、平成十四年度には完全週五日制となりました。PTAでは、土曜午後を使っての親子レクリエーション、講習会等の実施が難しい状況の中、有意義な活動にするため、家族・学校・地域のご協力を頂いてまいりました。

親子の関わりまでもが希薄になりつつある現在ですが、PTAでは平成九年度に第一回『宮前ふれあいまつり』を開催しました。

家庭・学校・地域と連携し、年に一度ですが楽しい休日のひと時を子供たちと一緒に過ごしてまいりました。今年度も保護者と子供たち、地域の方々とふれあいながら、やさしさと楽しい気持ちでいっぱいに満たされた心と笑顔で過ごせたら良いと思います。

是非、ご家庭では家族との関わりを持ちながら、子供たちと共に大人も夢を持ち、一緒に成長していくこうと言う気持ちや姿勢を持ちたいものです。そして地域では、各町会などで子供たちが参加できる様々な活動の機会を提供して頂きながら、地域ぐるみで子供たちを育てていこうと言う意識を持ち続ける事ができれば良いと思います。子宝という言葉があるように地域の子供たちも宝です。自分の子供以外にも目を向ける余裕が欲しいところです。

これからも、平成九年度から始まりました一人一役制を継続し、PTA会員相互の親睦を図り、より良い教育環境、生活環境作りを目指しながら、子供たちが心身ともに健全な成長ができるよう見守り続けていきたいと思います。

(副会長 竹内 良二)



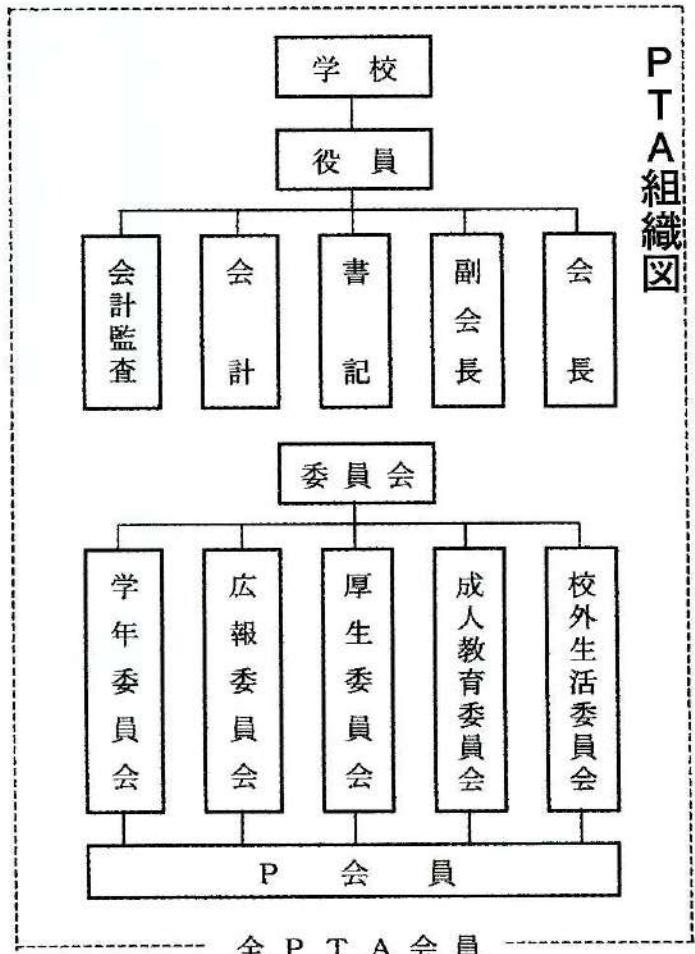
PTA主催『宮前ふれあいまつり』
秋の一日をチャレンジコーナーや工作で楽し
く過ごします。



『親睦会』地域の皆様、先生方と親睦を深めます。



『PTA総会』積極的な参加が望まれます。



毎回人気のフラワーアレンジメント教室

委員会活動

校外生活委員会

校外生活委員会の活動のねらいは「子供達の安全を守る」ことです。

痛ましい事件が相次ぐ現在、子供達を事件・事故から守り、豊かな心身の成長をはかることを目指しています。

登校時の安全を守るために旗振り当番表を、夏・冬休みには生活指導ポスターを作成し、地域と一体になって、安心できる教育環境作りのために努力しています。



旗振り当番で安全に登校しています。

成人教育委員会

成人教育委員会は、PTA会員自身のためにある委員会です。

文化的・教育的な活動により、会員が人格を磨き、自らを高めていこうという目的で作られました。

講師を招いての講習会やフラワー アレンジメント、コーラス等の各種教室を開催し、親としても成長し趣味の幅を広げ、より良い人間関係を作るための活動をしています。

厚生委員会



美味しい大満足の給食試食会。

厚生委員会では、保健体育と給食活動に力を入れています。夏休みには規則正しく生活できるよう、ラジオ体操会を実施しています。

また、全国でも数少ない、食物アレルギーを持つ児童にも個々に対応している安全・安心な本校の学校給食を、会員の皆さんも楽しんでいただこうと試食会を実施し、会員がより健康に生活できるよう活動しています。

広報委員会は、会員同志の意思の疎通をはかり、子供たちが心身ともに健やかに成長するための情報交換の場として、年三回広報誌『みやまえ』を発行しています。

毎回、委員会主催の講習会や学年親子レク等PTA行事を中心企画、取材し、アンケートを元に保護者の声も盛り込んで、役立つ広報誌になるよう心掛けています。

広報委員会



努力の成果、広報誌“みやまえ”。



親子レクで楽しいひと時。

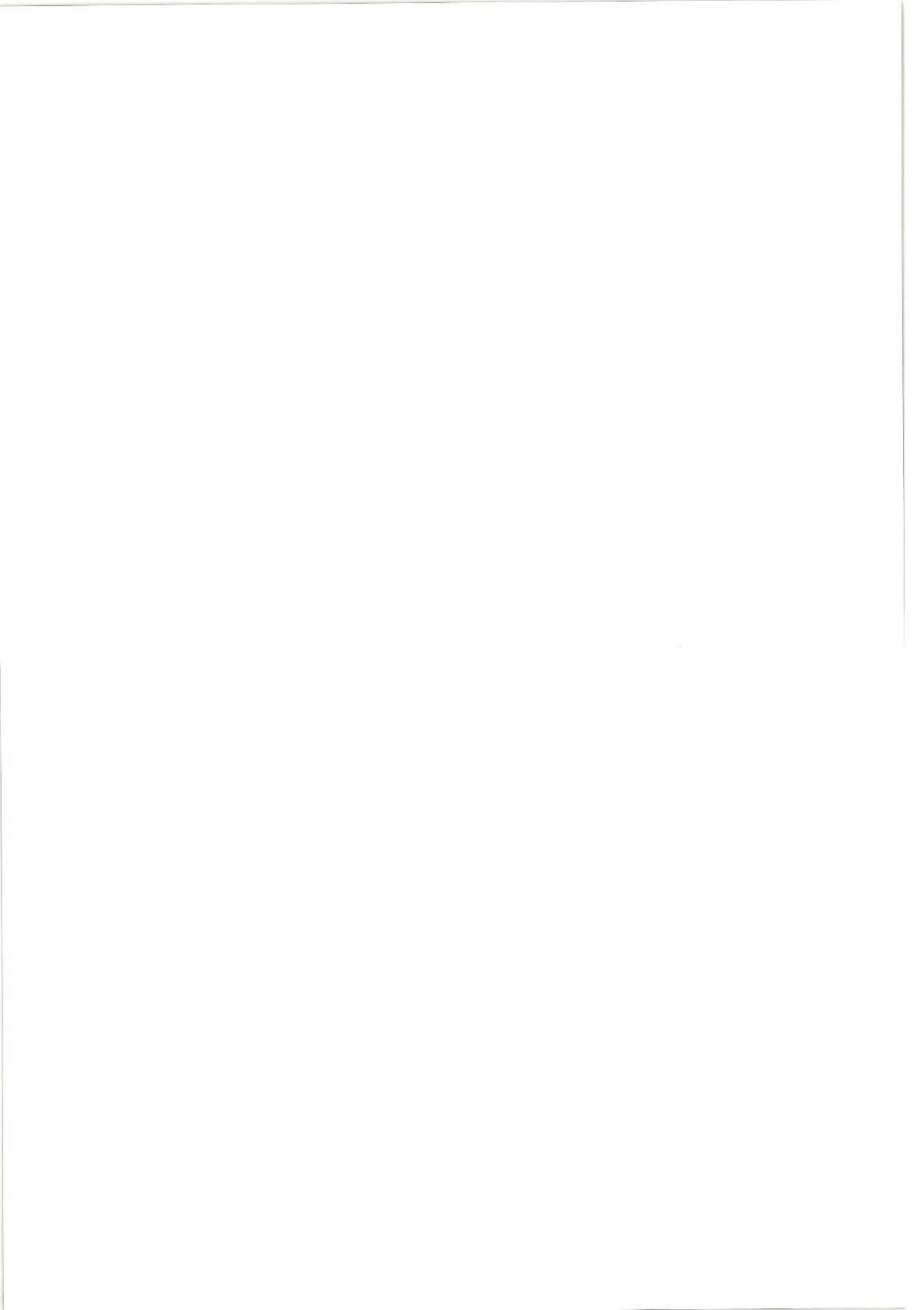
学年委員会は、各学年学級の活動を通じて、学校・保護者・児童の交流を深めるために活動しています。

週五日制になってからは、長い時間をかけて取り組む企画は難しくなりましたが、短時間でも親子で楽しめるゲーム大会やりんごの皮むき競争、自宅で家族揃ってのカルタ作り等、趣向を凝らした企画で親睦を深め、楽しい時間を過ごしています。

学年委員会

平成十六年度役員

会書記	校教頭	(教職員)	会計監査	会書記	副会長	会長	小熊賢一
計	長					池田実華	
	頭					竹田淳子	
						渡辺純子	
						尾崎典子	
						小原美奈子	
						高橋恵津子	
						近藤力	
						加藤昌代	
						高橋喜信	
						田村純成	
						田村悦子	
						阿久澤麻由子	









宮前の木

55周年記念